

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<第20週>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-11

<腸管出血性大腸菌感染症>

2011年の報告数は、第16週までは30例以下の報告が続いていたが、例年よりも早い第17週から増加し始めた

<手足口病>

第20週の報告数は前週の2倍以上の増加が見られた



病原体情報
P.12-18

麻疹ウイルス 2011年／インフルエンザウイルス 2011年第12週以降



速報
P.19-20

麻疹しん疑い症例から風疹ウイルスが検出された事例(輸入症例を含む)ー茨城県



海外感染症情報
P.21-22

インフルエンザ



感染症の話
P.23

<今週はお休みです>



読者のコーナー
P.24-25

東南アジアから輸入された風疹の症例



グラフ総覧(20週)
P.26-31



20週のデータ
P.32-44



発生動向総覧

<第20週コメント> 5月25日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核306例

3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. flexneri* (B群) 1例__感染地域: インド

S. sonnei (D群) 2例__感染地域: インドネシア1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症64例 (有症者47例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内64例

国内の感染地域: 富山県23例*、山形県7例**、滋賀県4例、神奈川県3例、兵庫県3例、島根県3例***、宮城県2例、東京都2例、京都府2例、福岡県2例、埼玉県1例、千葉県1例、新潟県1例、石川県1例、岐阜県1例、静岡県1例、岡山県1例、徳島県1例、大分県1例、鹿児島県1例、不明3例

* 焼肉店で発生した食中毒(O157 VT1・VT2)

** だんご店に関連した食中毒(O157 VT1・VT2)

*** 社会福祉施設で発生した集団感染(O26 VT1・VT2)

年齢群: 2歳(3例)、4歳(1例)、5歳(2例)、6歳(4例)、9歳(1例)、10代(29例)、20代(7例)、30代(7例)、40代(6例)、50代(2例)、60代(1例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(42例)、O26 VT1(5例)、O157 VT2(4例)、O26 VT1・VT2(3例)、O157 VT不明(2例)、O165 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、その他・不明(3例)

累積報告数: 462例(有症者308例、うちHUS 37例、死亡1例)

腸チフス2例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例

パラチフス1例

感染地域: バングラデシュ

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 静岡県__感染源: 鹿肉の生食

A型肝炎2例

感染地域: 愛知県1例、広島県1例

つつが虫病8例

感染地域: 山形県3例、秋田県2例、青森県1例、茨城県1例、岡山県1例

デング熱1例

感染地域: タイ/バングラデシュ

日本紅斑熱1例

感染地域: 広島県

マラリア1例

三日熱__感染地域: インド/タイ

レジオネラ症12例 (肺炎型12例)

感染地域: 愛媛県2例、北海道1例(温泉)、岩手県1例、茨城県1例、新潟県1例、富山県1例(温泉)、愛知県1例、兵庫県1例、高知県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 60代(5例)、70代(4例)、80代(3例)

レプトスピラ症1例

感染地域: 大阪府__感染源: 職場の水

5類感染症

アメーバ赤痢10例 (腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 東京都1例、長野県1例、愛知県1例、兵庫県1例、愛媛県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)3例、タイ1例

感染経路: 性的接触3例(異性間3例)、経口感染2例、その他・不明5例

ウイルス性肝炎5例

B型5例__感染経路: 性的接触3例(異性間3例)、刺青/性的接触(異性間)1例、不明1例

急性脳炎2例

病原体不明2例__年齢群: 1歳(1例)、3歳(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病1例 (感染性プリオン病医原性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例

年齢群: 10代(1例、死亡)、50代(1例)、60代(2例)

後天性免疫不全症候群9例 (AIDS 2例、無症候7例)

感染地域: 国内8例、国内・国外不明1例

感染経路: 性的接触8例(異性間3例、同性間5例)、不明1例

ジアルジア症1例

感染地域: 和歌山県

髄膜炎菌性髄膜炎1例 (死亡)

感染地域: 宮崎県

年齢群: 10代

梅毒4例 (早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候2例)

破傷風2例

感染地域: 福島県1例、宮崎県1例

年齢群: 70代(1例)、80代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: 不明__菌検出検体: 尿

風しん13例 (検査診断例8例、臨床診断例5例)

感染地域: 大阪府4例、神奈川県2例、広島県2例、福岡県2例、新潟県1例、静岡県1例、京都府1例

年齢群: 1歳(1例)、15～19歳(2例)、20～24歳(1例)、25～29歳(2例)、30～34歳(1例)、35～39歳(3例)、40代(3例)

麻しん37例 [麻しん(検査診断例16例、臨床診断例15例、修飾麻しん(検査診断例6例)]

感染地域: 国内35例、インドネシア1例、フィリピン1例

国内の感染地域: 東京都15例、千葉県5例、埼玉県3例、神奈川県2例、長野県2例、新潟県1例、静岡県1例、国内(都道府県不明)6例

年齢群: 0歳(3例)、1歳(2例)、2歳(2例)、3歳(1例)、5～9歳(8例)、10～14歳(1例)、15～19歳(4例)、20～24歳(3例)、25～29歳(3例)、30～34歳(3例)、35～39歳(1例)、40代(4例)、60代(2例)

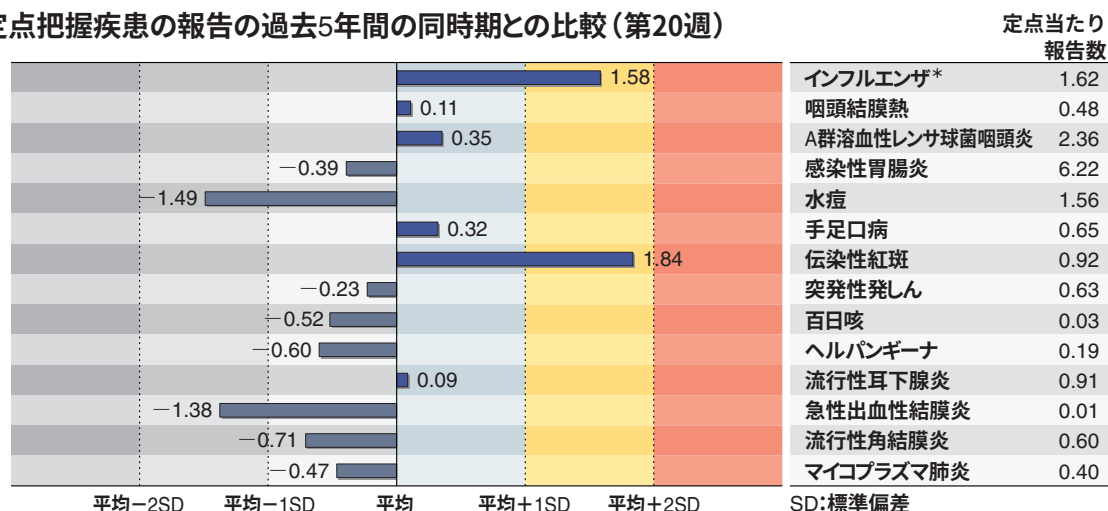
累積報告数: 264例〔麻しん(検査診断例138例、臨床診断例78例)、修飾麻しん(検査診断例48例)〕

(補)他に2011年第19週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例〔菌種: *S. boydii* (C群)1例__感染地域: 東京都、菌種: *S. sonnei* (D群)1例__感染地域: インド〕、パラチフス1例(感染地域: インド)、E型肝炎1例(感染地域: インド__感染源: 不明)、デング熱1例(感染地域: フィリピン)、日本紅斑熱1例(感染地域: 愛媛県)、マラリア1例(熱帯熱__感染地域: ケニア)、レジオネラ症1例〔感染地域: 高知県(温泉)〕、急性脳炎2例〔病原体不明2例(2歳、10代)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例(60代3例)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(感染地域: 宮崎県__年齢群: 60代)、風しん8例〔検査診断例7例、臨床診断例1例__感染地域: 大阪府4例、東京都2例、富山県1例、タイ1例__年齢群: 1歳(1例)、25～29歳(2例)、30～34歳(2例)、35～39歳(1例)、40代(2例)〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第20週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(※2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第17週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(16.19)、佐賀県(6.92)、長崎県(5.37)、宮崎県(4.95)、福井県(4.59)、鹿児島県(4.07)、青森県(3.81)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は335例と微減した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約64%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では滋賀県(1.66)、島根県(1.26)、富山県(1.14)、宮崎県(1.14)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では福井県(4.64)、新潟県(4.05)、山形県(3.93)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(12.9)、新潟県(11.9)、山形県(11.0)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県(3.11)、宮崎県(2.81)、佐賀県(2.78)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では宮崎県(3.53)、岡山県(3.19)、福岡県(2.89)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(2.22)、山形県(2.03)、栃木県(1.88)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(0.15)、広島県(0.10)、福岡県(0.10)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では鹿児島県(1.13)、宮崎県(1.06)、岡山県(0.70)が多い。

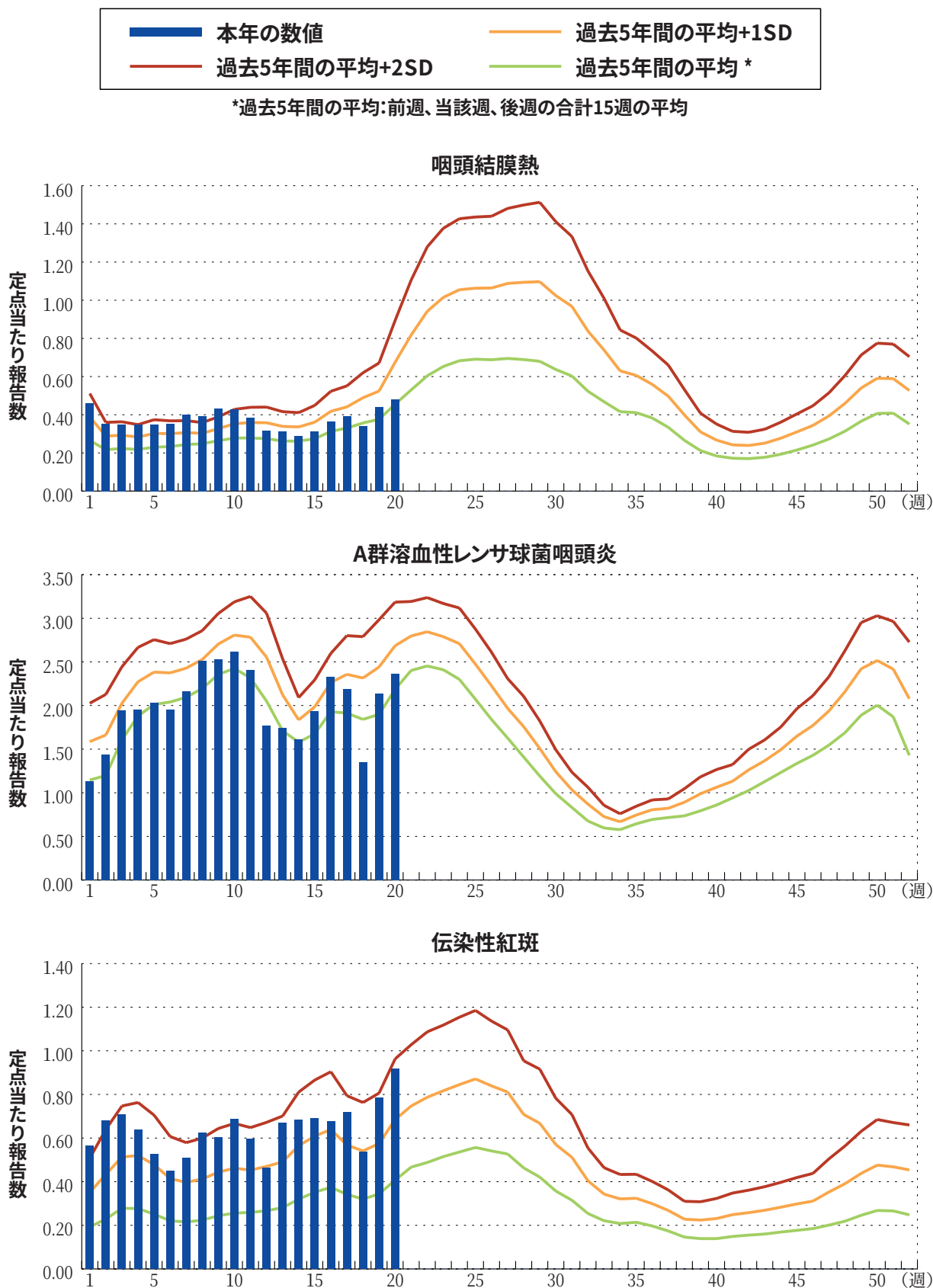
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県(4.44)、鳥取県(3.68)、鹿児島県(2.31)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大阪府(1.73)、沖縄県(1.71)、宮城県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第20週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆腸管出血性大腸菌感染症 (2011年5月25日現在)

2011年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第16週までは30例以下の報告が続いていたが、例年よりも早い第17週から増加し始めた。第18週70例、第19週65例と50例を超え、第20週は64例であった(図)。本年第20週までの累積報告数462例は、2000年以降の各年の累積数と比較して2001、2010年に次ぐ3番目に多い報告数である(2000年375例、2001年709例、2002年415例、2003年232例、2004年345例、2005年349例、2006年329例、2007年384例、2008年439例、2009年408例、2010年466例)。

第1～20週の累積報告数462例についてみると、報告の多い都道府県は、食中毒による集団発生を反映して富山県(105例)、島根県(41例)が多く、次いで東京都(31例)、福岡県(26例)、神奈川県(22例)となっている(速報データー2011年第20週: <http://idsc.nih.go.jp/disease/ehc/2011prompt/20wEHEC.pdf> 4. 累積報告数地図参照)。

性別では男性202例、女性260例、年齢群別では0～9歳102例、10～19歳98例、20～29歳83例の順に多かった。

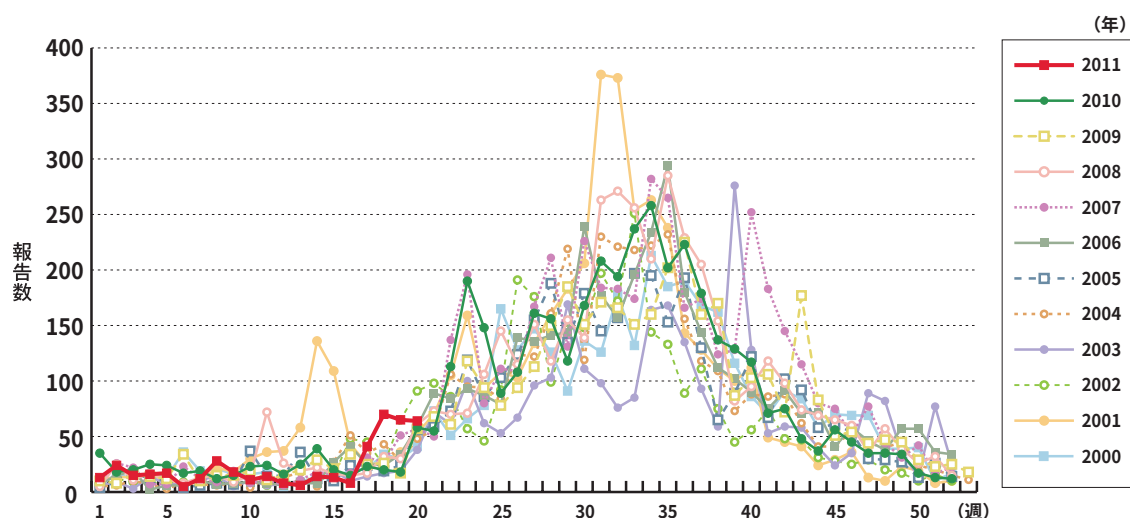
第16週以降に島根県の社会福祉施設で発生したO26 VT1・VT2による集団感染では、家族内感染を含めこれまでに計34例の感染者が報告されている。

また、第17週以降に富山県を中心(福井県、神奈川県、宮城県、大阪府からも報告)として同系列の焼肉店で発生した食中毒(O111 VT2、O157 VT1・VT2など)で、これまでに80例以上の感染者が報告されている。そのうち腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)の発症が28例報告されている。

第19週以降に発生した山形県のだんご店に関連した食中毒(O157 VT1・VT2)については、山形県からの報告は遅れており未報告であるが、山形県以外の宮城県、福島県、埼玉県、東京都からこれまでに計10例が報告されている。

さらに、第20週に富山県の焼肉店でO157 VT1・VT2による食中毒が発生した。

図. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(2000～2011年第20週)



HUSは第20週までに累計37例(男性13例、女性24例)報告されており、年齢群別では0～4歳4例、5～9歳7例、10～14歳4例、15～64歳20例、65歳以上2例であった。死亡例は1例(80代男性、O157 VT1・VT2、HUS発症)報告されている。

今後、毎年本症が数多く発生する夏季を迎えるにあたり、その発生動向には注意が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。

(補)菌の検出状況については、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html> をご参照ください。

◆手足口病

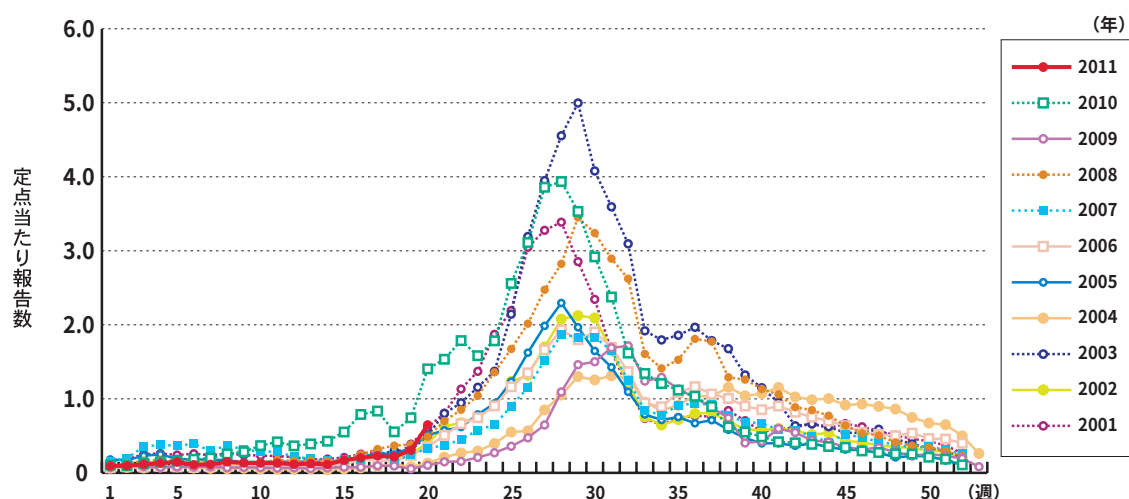
手足口病(hand, foot, and mouth disease: HFMD)は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。病原ウイルスは主にコクサッキーA16(CA16)、エンテロウイルス71(EV71)であり、その他コクサッキーA6、A9やA10などのエンテロウイルスによっても発症する。例年4月頃から患者数が増加し始め、流行のピークは7月中旬か下旬となり、8月に入ると減少していく、という経過を辿る。

臨床的特徴であるが、感染から3～5日の潜伏期間の後に、口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に2～3mmの水疱性発疹が出現する。発熱は約3分の1に認められるが軽度であり、高熱が続くことは通常はない。本症は基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患である。しかしながら、まれではあるが髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することがある。特にEV71に感染した場合は、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いことが明らかとなってきたため、同ウイルスが流行している期間中は、手足口病発症児の経過を注意深く観察し、合併症に対する警戒を行う必要がある。なお、急性脳炎を合併した場合には、5類感染症全数届出疾患として報告が必要である。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児施設においての感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。本疾患は主要症状が回復した後も比較的長期間にわたって児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。2011年第20週の手足口病の定点当たり報告数は0.65(報告数2,033)と2週連続して増加した(図1)。都道府県別では宮崎県(3.53)、

図1. 手足口病の年別・週別発生状況(2001～2011年第20週)



岡山県(3.19)、福岡県(2.89)、香川県(2.87)、佐賀県(2.30)、大分県(1.94)、広島県(1.86)の順となっている。第20週は42都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている一方、全国平均の定点当たり報告数を上回っているのは殆どが西日本の府県である(図2)。

累積報告数の年齢別割合をみると、発生報告の中心が5歳以下の乳幼児であることは例年と同様であり、2011年は3歳以下で全体の80%以上を、また5歳までで全報告数の90%以上を占めている(図3)。

図2. 手足口病の都道府県別定点当たり報告数の推移(2011年第18～20週)

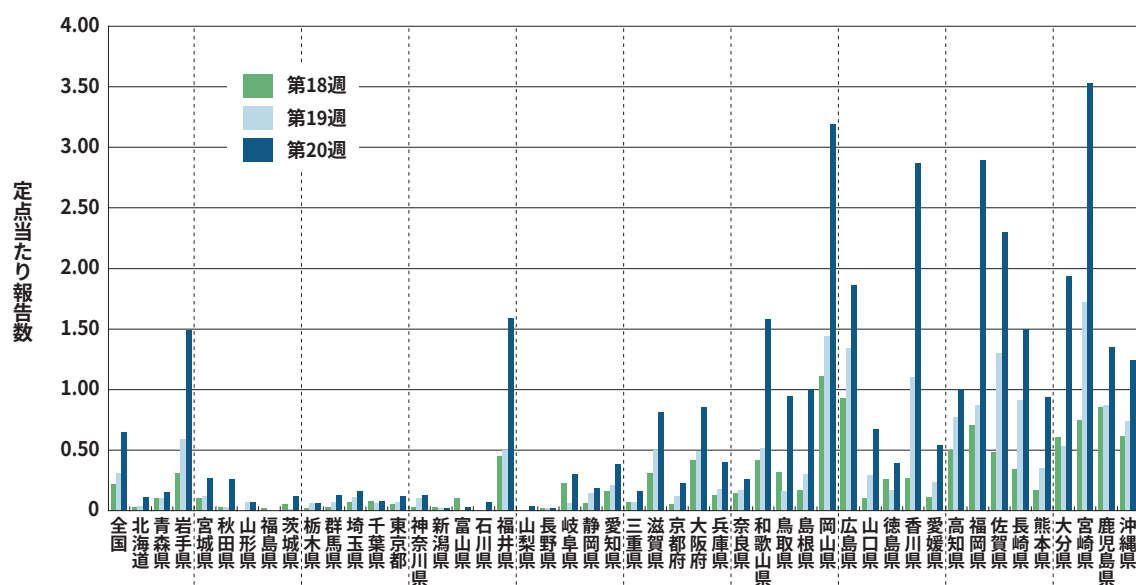
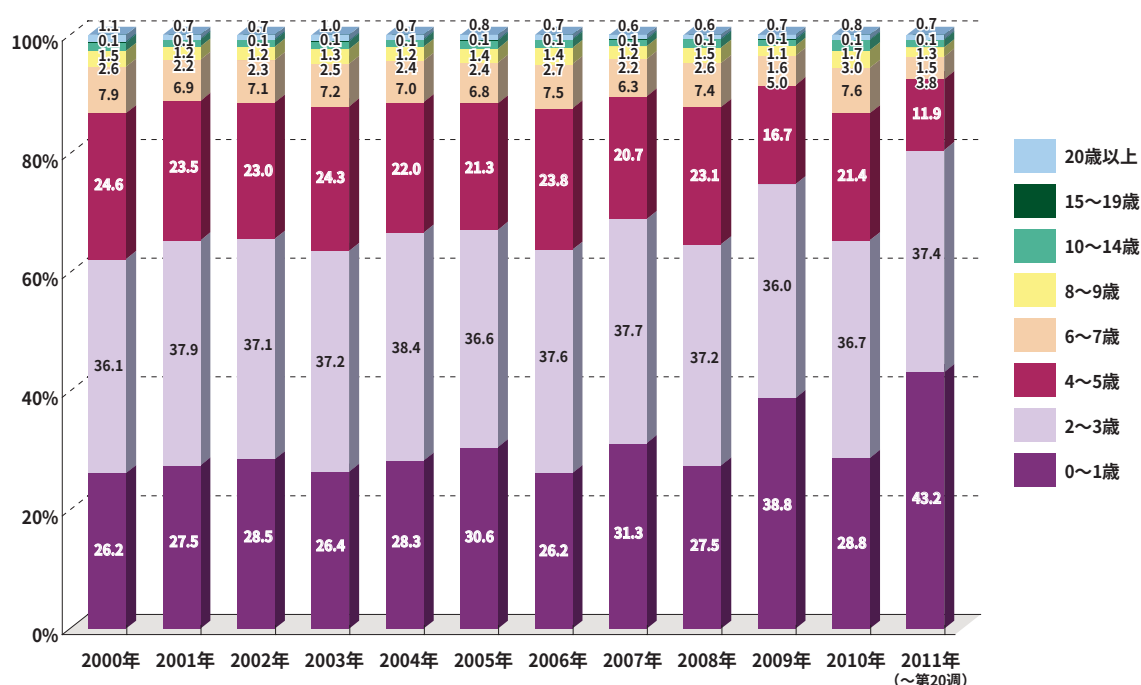


図3. 手足口病の年別・年齢別割合(2000～2011年第20週)



手足口病の報告数は、第20週に入って前週の2倍以上の増加が見られた。現在は主に西日本で患者の発生が認められているが、今後は夏季の流行のピークに向かって患者発生数は継続的に増加し、全国の保育園、幼稚園等の乳幼児の集団生活施設を中心に流行が広がっていくものと推察される。手足口病の発生動向には今後とも注意深い観察が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

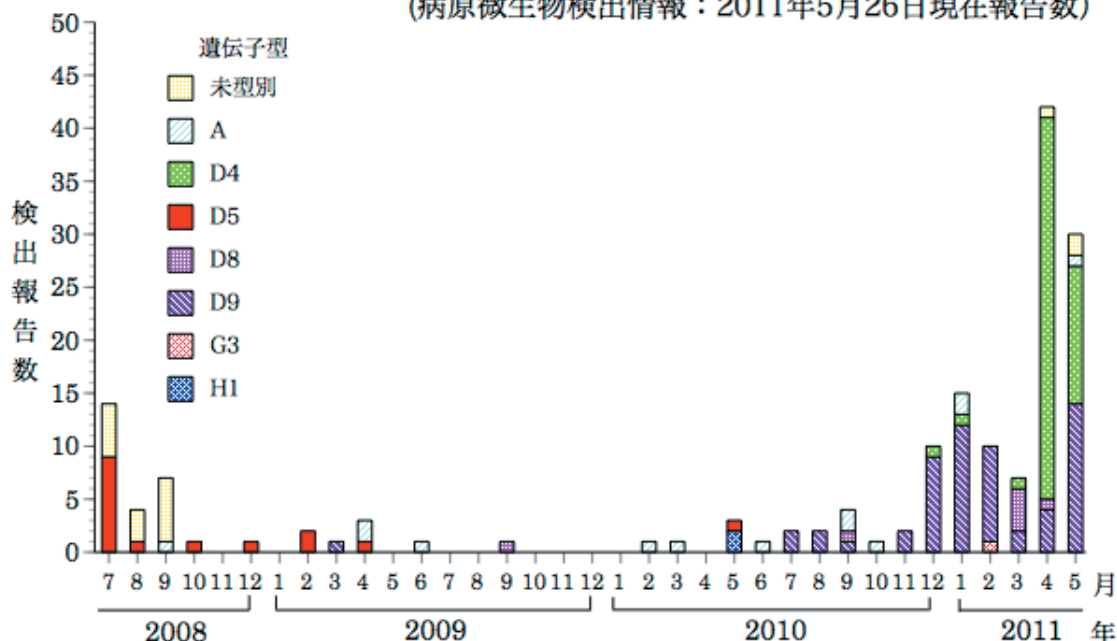
(2011年5月26日現在報告分)

◆麻疹ウイルス 2011年

2011年1～5月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、香川県、福岡県の12都府県から104件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2008年7月～2011年5月

(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

未型別: 4月1件、5月2件、計3件

- ・東京都4月1件、5月2件、渡航歴のない散发例から

D4型: 1月1件、3月1件、4月36件、5月13件、計51件

- ・東京都1月1件、英国から入国する2日前に発症した患者から
- ・大阪府3月1件、フランスから帰国して3日後に発症した患者から
- ・東京都4月34件、ドイツ・スイス・フランスから帰国して13日後に発症した患者、フランスから帰国して2日後に発症した患者、フランスから入国して5日後に発症した患者各1例、渡航歴のない散发例30例とその家族1例から
- ・神奈川県4月2件、渡航歴のない家族2例から
- ・東京都5月11件、渡航歴のない散发例から
- ・兵庫県5月1件、フランスから帰国して8日後に発症した患者から
- ・広島県5月1件、渡航歴のない散发例から

D8型: 3月4件、4月1件、計5件

- ・広島県3月4件、オーストラリアから帰国して8日後に発症した患者とその家族から
- ・東京都4月1件、タイから帰国する5日前に発症した患者から

D9型: 1月12件、2月9件、3月2件、4月4件、5月14件、計41件

- ・愛知県1月3件、2010年11月から続いている感染拡大による集団発生例から
- ・東京都1月2件、シンガポール・スリランカから帰国する3日前に発症した患者とフィリピンから帰国して9日後に発症した患者から
- ・東京都2月2件、3月2件、渡航歴のない散发例から
- ・埼玉県2月1件、渡航歴のない散发例から
- ・神奈川県1～2月2件、フィリピンから帰国して7日後に発症した患者とその家族から
- ・岡山県1月1件、フィリピンから帰国して8日後に発症した患者から
- ・広島県1月5件、2月4件、フィリピンから帰国した翌日に発症した患者1例とその周囲への感染拡大による集団発生例6例、および地域の散发例2例から
- ・香川県2月1件、広島県で感染したと推定される患者から
- ・大阪府4月1件、カンボジアから入国した日に発症した患者から
- ・広島県4月1件、渡航歴のない散发例から
- ・東京都4月2件、フィリピンから帰国して4日後に発症した患者とグルジアから帰国後発症した患者から
- ・東京都5月11件、渡航歴のない散发例から
- ・千葉県5月3件、渡航歴のない散发例から

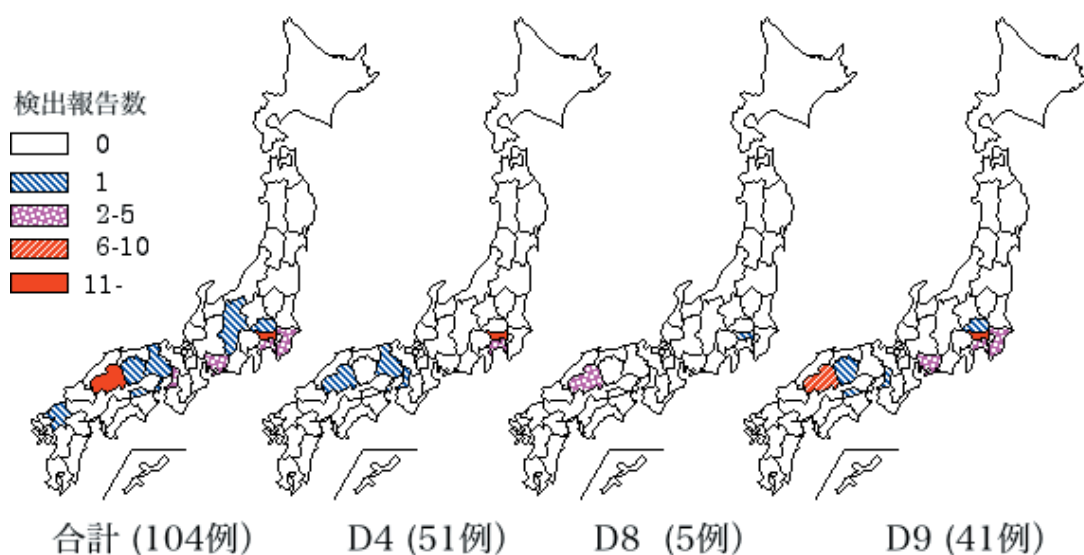
G3型: 2月千葉県1件、インドネシアから帰国して10日後に発症した患者から

A型(ワクチンタイプ): 1月2件、5月1件、計3件

- ・東京都1月1件、発疹症患者、ワクチン接種13日後に採取された検体から
- ・福岡県1月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種10日後に採取された検体から
- ・長野県5月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種9日後に採取された検体から

都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2011年

(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)

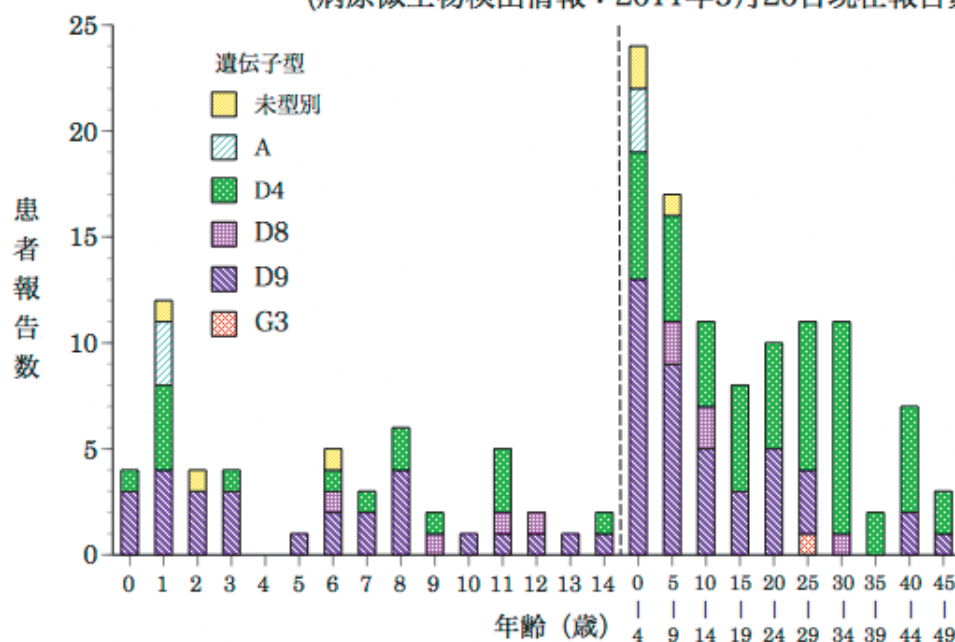


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス分離・検出例の年齢分布, 2011年1月～5月
(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

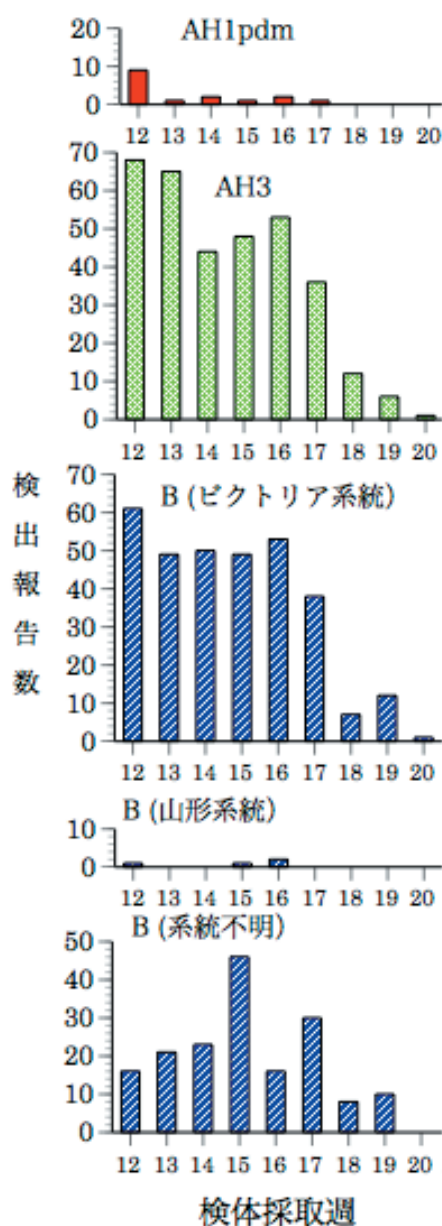
麻疹ウイルス検出例の年齢は1歳をピークに0～4歳が最も多いが、20～40代の成人が42%を占めており、子供も成人も麻疹に注意が必要である。

麻疹ウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html> を参照ください。

◆インフルエンザウイルス 2011年第12週以降

2011年第12週以降はB型の報告数がA型の報告数を上回っている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、
2011年第12週～第20週
(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)



(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

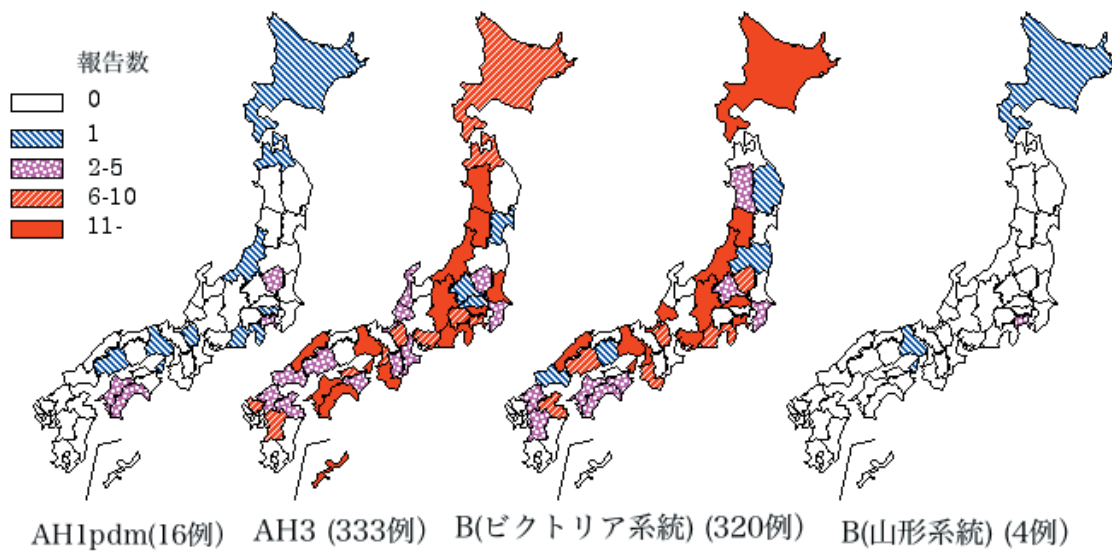
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

2011年第12～20週の累積では、AH1pdmが12都道府県から16件、AH3亜型が37都道府県から333件、B型はビクトリア系統株が29道府県から320件、山形系統株が3道府県から4件、系統不明株が17都道府県から170件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第12週～第20週
(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

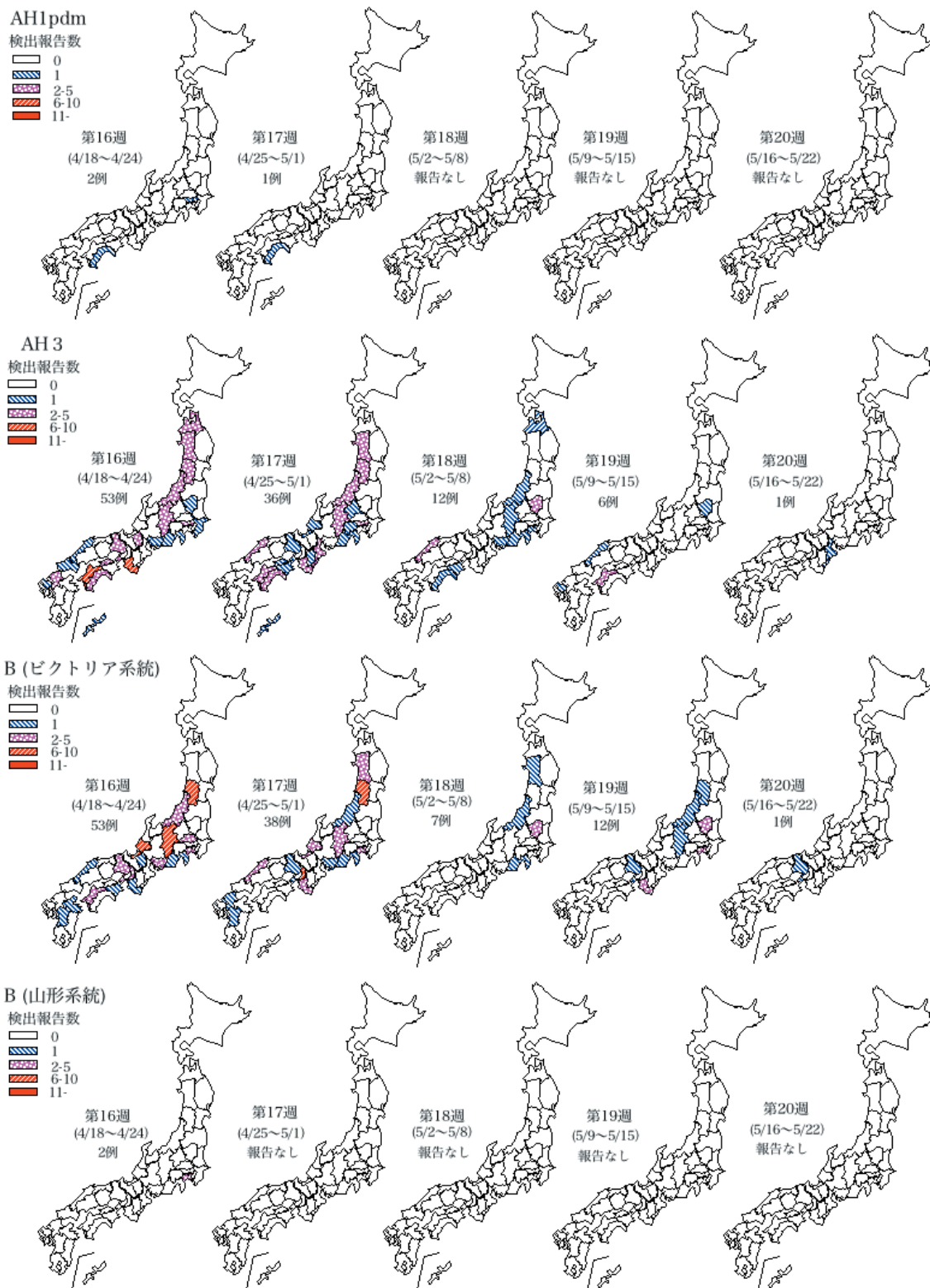


直近の2011年第16～20週の5週間ではAH1pdmが2都県から3件(高知県2件、東京都1件)、AH3亜型が28都県から108件(愛媛県12件、山形県、和歌山県各9件、長野県、島根県各8件、新潟県7件、東京都6件など)、B型はビクトリア系統株が20道府県から111件(長野県16件、山形県14件、福井県11件、神奈川県10件、栃木県、新潟県、大阪府各8件、兵庫県7件、和歌山県6件など)、山形系統株が神奈川県から2件、系統不明株が13都府県から64件(青森県15件、東京都11件、静岡県、奈良県各9件、高知県6件など)報告されている。B型(177件)が分離・検出例全体(288件)の61%、AH3亜型(108件)が38%を占め、AH1pdm(3件)は1%を占めている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第16週～第20週

(病原微生物検出情報: 2011年5月26日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を検体採取週別に図に示した



◆麻しん疑い症例から風疹ウイルスが検出された事例(輸入症例を含む)ー茨城県

はじめに: 本県では2010年4月から麻しんが疑われるすべての症例を対象に麻しんの検査診断を実施している。「麻しん疑い症例の病原体診断の必要性」については、既にIASR 32:80-81, 2011/IDWR 2011年7週号「速報」参照において報告したところであるが、今回、麻しん疑い症例から風疹ウイルスが検出されたのでその概要を報告する。

症例: 麻疹ウイルス不検出症例の咽頭ぬぐい液および血漿を材料とし、風疹ウイルスの遺伝子検査(RT-PCR)を実施したところ、4例から風疹ウイルスが検出された。

症例1は、49歳男性で、フィリピンへの渡航歴(2011年2月2～12日まで滞在)があった。帰国後2月17日ごろから鼻水・咳等の風邪様症状がみられ、19日に近医を受診し風邪と診断された。その後20日に38℃の発熱、結膜炎症状、全身に発疹がみられたため、21日に再度近医を受診し麻しんが疑われた。当所で麻しんの遺伝子検査を実施した結果不検出であったため、デング熱および風しんの遺伝子検査を実施したところ、風疹ウイルスが検出された。遺伝子解析の結果、1j型に分類され、2004年の日本株より2008年のフィリピン株に近いことから、フィリピンからの輸入例であると推定された。

症例2と症例3は、36歳と15歳の男性で同一家族である。疫学調査の結果、最近の渡航歴はなかった。2人はほぼ同時期に発症し、2011年3月28日に近医を受診し麻しん疑いと診断された。当所で検査した結果、麻疹ウイルス不検出で、風疹ウイルスが検出された。遺伝子解析の結果2B型に分類され、現在世界的に流行している株で東南アジアに多い株であることがわかった。

症例4は、12歳男性で症例2および症例3と同市在住であった。2011年3月31日から頭痛、39℃の発熱がみられ、4月1日に結膜充血、3日に全身に発疹がみられ、4日近医を受診し麻しん疑いと診断された。当所で遺伝子検査を実施したところ、風疹ウイルスが検出された。その後、二次感染例は確認されていない。

まとめ: 本県の風しんの届出患者数は、2008年4人(全国303人)、2009年2人(全国147人)、2010年3人(全国89人)、2011年(第18週現在)6人(全国90人)で、昨年まではほぼ横ばいで推移していたが、今年は第18週現在で昨年の2倍の届出数となっている。全国でも昨年まで減少傾向を示していたが、今年は昨年の同時期と比較して高い値となっており、風しんの流行が懸念される。

また、今回、麻しん疑い症例から風しんが4例確認されたことから、臨床診断では、風しんが麻しんと診断されていることが稀ではないと思われた。風しんの流行を防ぎ、先天性風しん症候群(CRS)の発生を防止するためには、風しんの早期の診断が重要である。その観点からも麻しん検査診断のスキームに風しん遺伝子検査を加えることは有用と思われた。

さらに、今回海外に由来する遺伝子型が検出されたことから、今後は、患者の疫学調査に加えて、ウイルス遺伝子型の解析も重要であると考えられた。

また、20～50代の男性には風しんに対する免疫を持たない人が多いことが報告されている(<http://idsc.nih.go.jp/yosoku/Rubella/Serum-R2010.html>)。今回の患者がすべて男性であったことから、これら感受性者への対策も必要と思われる。

謝辞: 検査にあたりご協力をいただきました国立感染症研究所感染症情報センター第三室長の多屋馨子先生、ウイルス第三部第一室長の駒瀬勝啓先生に深謝いたします。

参考文献

- 1) 「風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言」平成16年6月、厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業分担研究班
- 2) IASR 27:104-105, 2006
- 3) 「病原体検査マニュアル」国立感染症研究所・全国地方衛生研究所全国協議会編

茨城県衛生研究所

永田紀子 土井育子 笠井 潔 増子京子 原 孝 杉山昌秀

(IASR 2011年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

●インフルエンザ

2011年5月20日—更新134

【要約】

- ・インフルエンザ・シーズンは北半球の地域諸国ではほぼ終息し、ほとんどの国々でインフルエンザの活動性は確認できないか極めて低いレベルである。
- ・熱帯地域諸国では小規模のインフルエンザの活動性が確認されている。アメリカ地域では、ドミニカ共和国とベネズエラでインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、ジャマイカでインフルエンザウイルスB型、サハラ以南アフリカ地域では、ルワンダでインフルエンザウイルスA(H3N2)、マダガスカルでインフルエンザウイルスB型が報告されている。
- ・南半球の温帯地域諸国ではまだインフルエンザ・シーズンが始まっていない。オーストラリア(北部熱帯地区も含む)ではインフルエンザ様疾患(ILI)の報告がやや増加しているが、ここ数週間ほとんどの地区でインフルエンザウイルスの報告は減少している。
- ・2011年5月26日に、北半球2010-11インフルエンザ報告がWER(Weekly Epidemiological Record)に掲載される予定である。

【北半球の温帯地域諸国】

北米:

米国とカナダでのインフルエンザの活動性は、現在ではほとんど通常のレベルに戻ってきている。ILI、インフルエンザ関連死亡、インフルエンザ関連入院はいずれも減少し続けている。ただし、カナダのノバスコシア州とニューファンドランド州では局地的なインフルエンザの活動性が報告されている。インフルエンザウイルス陽性検体の割合は低く、カナダで5%、米国で2%以下であり、インフルエンザウイルスB型が優位である。

ヨーロッパ・北アフリカ・中東:

ヨーロッパと北アフリカでのインフルエンザの活動性は極めて低いレベルである。ヨーロッパでのILIや急性呼吸器感染症(ARI)での受診率は極めて低いレベルにあり、半数の国々ではインフルエンザ報告数はゼロである。ヨーロッパでのILIと重症急性呼吸器感染症(SARI)の定点サーベイランスにおけるインフルエンザウイルス陽性検体の割合は、それぞれ2%と4%であった。北アフリカと中東では、インフルエンザの活動性はほぼゼロに近い。ヨーロッパ、北アフリカ、中東では、インフルエンザウイルスB型が優位である。

北アジア:

モンゴル・中国北部・韓国・日本では、インフルエンザの目立った活動性はない。ILIやインフルエンザウイルスの報告もかなり低い。中国北部では、外来総患者数の3%がILIであり、過去3年の同時期と比べて低い。この地域では、インフルエンザウイルスB型が優位である。

【熱帯地域諸国】

熱帯地域諸国では、インフルエンザの活動性はほとんど報告されていない。アメリカ地域ではドミニカ共和国から、過去5週間にインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が少数報告されている。ジャマイカでも少数のインフルエンザウイルスB型が数週間報告されたが、最近ではこれらの国々での報告数は減少してきている。ベネズエラで過去に注目されたインフルエンザウイルスA(H1N1)

2009の活動性は3月下旬にピークに達し現在ではとても低いレベルである。中央および南アメリカの熱帯地域諸国では、RSウイルス感染による呼吸器感染症の増加が報告されている。サハラ以南のアフリカ地域では、過去に報告されたインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の流行、ガーナとケニアでのインフルエンザウイルスB型の流行はともに沈静化している。ルワンダでは過去10～12週にわたってインフルエンザウイルスA(H3N2)が流行し、マダガスカルでは主にインフルエンザウイルスB型が持続的に流行し、同時に少数のインフルエンザウイルスA(H3N2)も報告されている。アジアの熱帯地域諸国では、ILIやインフルエンザウイルスの報告はかなり低いレベルである。

【南半球の温帯地域諸国】

南半球の温帯地域諸国では、まだインフルエンザのシーズンは始まっていない。クイーンズランド州などのオーストラリア北部では、通常よりも多数のインフルエンザウイルスが報告されていたが、最近数週間では報告は減少している。夏季にはインフルエンザウイルスA(H3N2)が優位であったが、先週からインフルエンザウイルスA(H1N1)2009およびインフルエンザウイルスB型が報告されている。オーストラリアでのILIの報告はやや増加してきたが、それでも低いレベルである。

【ウイルス学的サマリー】

第17～18週(2011年4月24日～5月7日)では、全体的にインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、A(H3N2)、およびB型の報告は減少し、数ヵ国で散発的な報告がみられるだけである。

カナダおよびアジアとヨーロッパの一部の国々で、低いレベルではあるがインフルエンザウイルスB型のほうがA型より優勢である。中央およびアメリカ地域の国々では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009が優勢である。ブラジル、コンゴ民主共和国、ルワンダでは、インフルエンザウイルスA(H3N2)が優勢である。

最近報告された大部分のインフルエンザウイルスの抗原性は、2010～2011シーズンの北半球および2001シーズンの南半球インフルエンザワクチンWHO推奨株に類似している。

第17～18週(2011年4月24日～5月7日)において、82の国と地域の国家インフルエンザセンター(NIC)のFluNetへの報告によれば、インフルエンザ陽性検体総数1,017のうち、358(35.2%)検体はインフルエンザウイルスA型、659(64.8%)検体はインフルエンザB型であった。インフルエンザウイルスA型のうち、54%はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、46%がインフルエンザウイルスA(H3N2型)であった。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

投稿(速報):

東南アジアから輸入された風疹の症例(25歳、男性)

【主訴】

皮疹

【現病歴】

2011年1月22日～3月22日まで東南アジア(インドネシア、シンガポール、マレーシア、タイ、ラオス、ベトナム、カンボジア)を旅行した。3月18日に悪寒、40℃台の発熱、頭痛、咽頭痛が出現し、3月21日から皮疹が全身に広がった。皮疹が持続するため帰国後の3月23日に当科を受診した。

【身体所見】

体温37.3℃, 眼球結膜の充血(+), 咽頭発赤(+), 扁桃腫脹(+), 両側扁桃および口蓋垂にアフタ性潰瘍(+), 両側頸部リンパ節腫脹(+), 耳介後リンパ節腫脹(-), 胸背部および四肢に紅斑(+), 出血斑(+), 呼吸音清, 心雑音(-), 腹部平坦・軟, 腸音正常, 肝脾腫(-), 関節腫脹(-)

【血液検査(3月23日)】

WBC 2380/ μ l(Lymphocyte 833/ μ l), Hct 42.1%, Plt 13.7万/ μ l, ALT 17 U/L, LDH 339 U/L, CRP 3.61 mg/dl

デングウイルス遺伝子 陰性、デングウイルスNS-1抗原 陰性、デングウイルスIgM抗体判定保留、デングウイルスIgG抗体 陽性

	基準値	3月23日 (第6病日)	3月25日 (第8病日)	3月30日 (第13病日)	4月6日 (第20病日)
風疹特異的IgM抗体	1.21以上陽性	—	6.27	—	8.64
風疹特異的IgG抗体	4.0以上陽性	—	4.60	—	43.10
麻疹PA抗体	1:16以上陽性	1:1024	—	1:1024	—

【経過】

3月23日以降、38℃を超える発熱はなく、体幹の皮疹は3月30日には消失し4月6日には四肢の皮疹も消失した。頸部リンパ節腫脹は遷延したが4月8日には消失した。合併症はなかった。3月25日の血液検査で風疹特異的IgM抗体が上昇しており風疹と診断し、保健所に発生届を提出した。なお3月25日の咽頭ぬぐい液についてRT-PCR法で風疹、麻疹、ヒューマンメタニューモ、RS(A型、B型)、パラインフルエンザ(1型、2型、3型)、インフルエンザ(A型pdm2009、A型ソ連、A型香港、B型)、アデノ、ボカ、ライノ、エンテロウイルス遺伝子の検出を試みたが検出されなかった。また3月30日の尿からも風疹ウイルスは検出されなかった。患者には風疹ワクチンの接種歴はなかった。

【考察】

成人の風疹では、皮疹が出現する1～5日前にウイルス血症による発熱と全身倦怠感が出現することが知られており、血液検査では白血球と血小板が減少する。このため咳嗽が目立たないことを除けば麻疹の経過とよく似る場合がある。本症例でも皮疹が出現する前に3日間、発熱、頭痛、咽頭痛がみられたが麻疹PA抗体価は急性期回復期ともに健康成人の平均抗体価であり、

麻疹は否定的であった。また東南アジアへの渡航歴があり、皮疹の一部は点状出血でデング熱との鑑別を要した。デングウイルスの遺伝子、NS-1抗原、IgM抗体はいずれも陰性でデング熱は否定的であった(デングウイルスIgG抗体陽性は日本脳炎抗体の交差反応または過去のデングウイルス感染によるものと考えられた)。

1977年から中学生女子を対象に始められた風疹の定期予防接種は国内での流行を抑えることができず、1995年から生後12～90カ月のすべての男女と中学生男女に対象が拡大された。2003年9月までは経過措置として1979年4月2日～1987年10月1日生まれの男女を対象に接種が行われたものの、2010年度感染症流行予測調査では30～54歳男性の10～30%が本症例のように風疹に免疫を持たないと報告されている(<http://idsc.nih.go.jp/yosoku/Rubella/Serum-R2010.html>)。本症例は病歴より東南アジアからの輸入と考えられた。本年は欧州での流行拡大に伴う麻疹の輸入が注目されているが症状の似ている風疹にも注意が必要である。

【参考文献】

J E Banatvala, D W G Brown. Rubella. Lancet 2004; 363: 1127-1137

【謝辞】

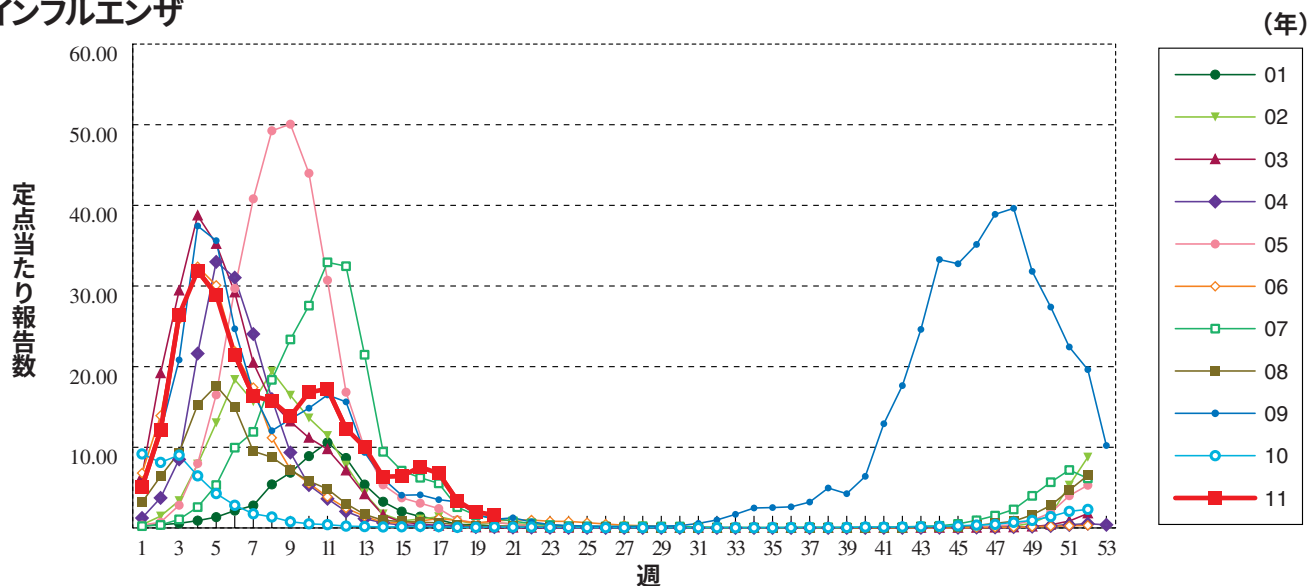
本症例に関してご指導、ご協力いただいた国立感染症研究所ウイルス第一部第2室 高崎智彦先生、感染症情報センター 佐藤弘先生、多屋馨子先生、藤本嗣人先生に深く感謝いたします。

(独)国立国際医療研究センター 国際疾病センター
山内悠子、加藤康幸、氏家無限、竹下 望、金川修造

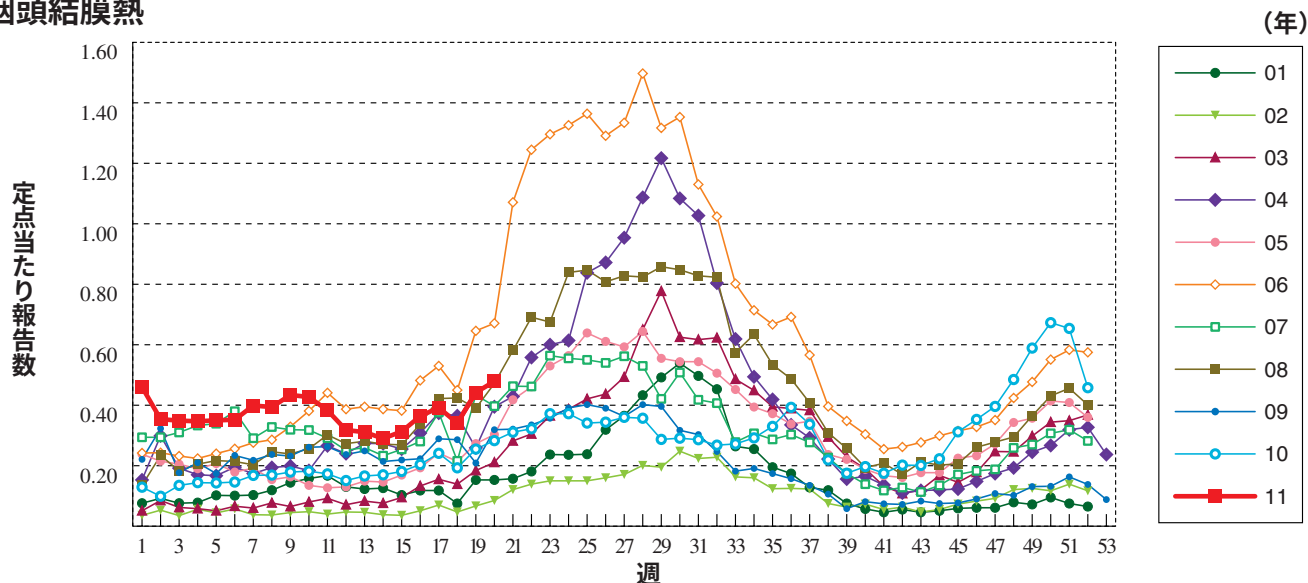


グラフ総覧(20週)

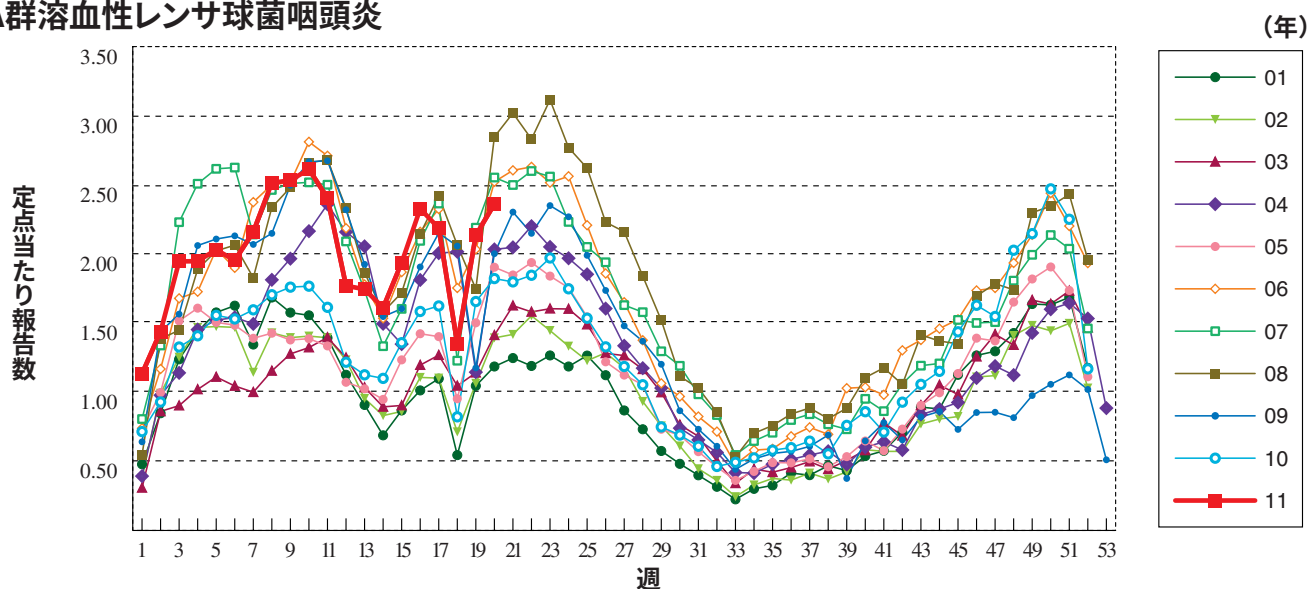
インフルエンザ



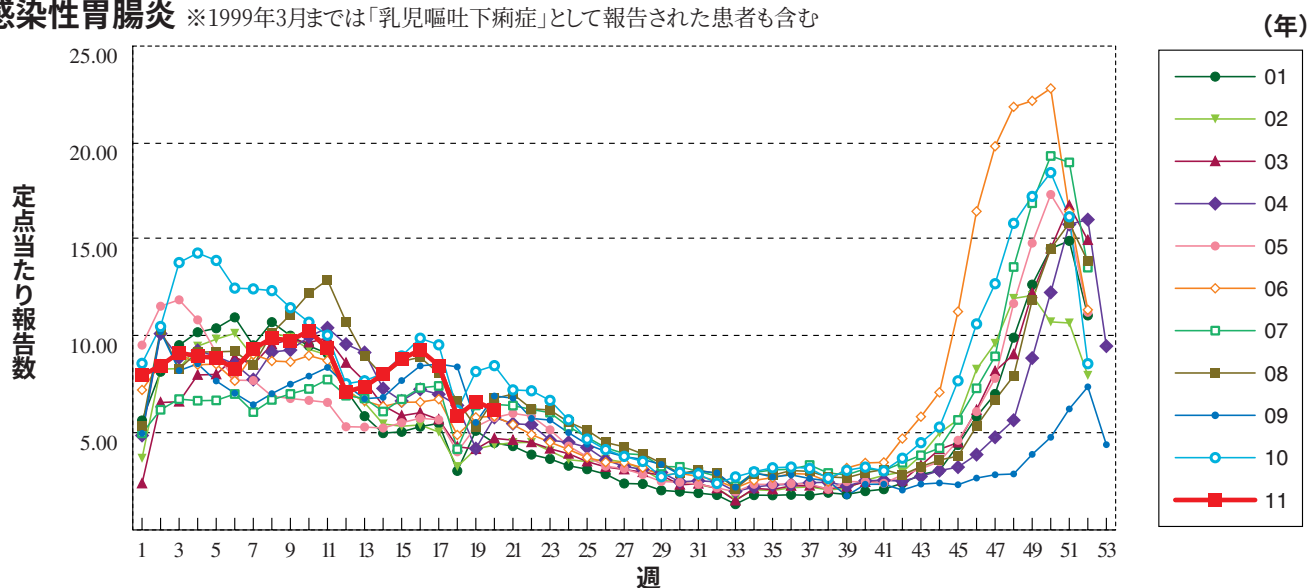
咽頭結膜熱



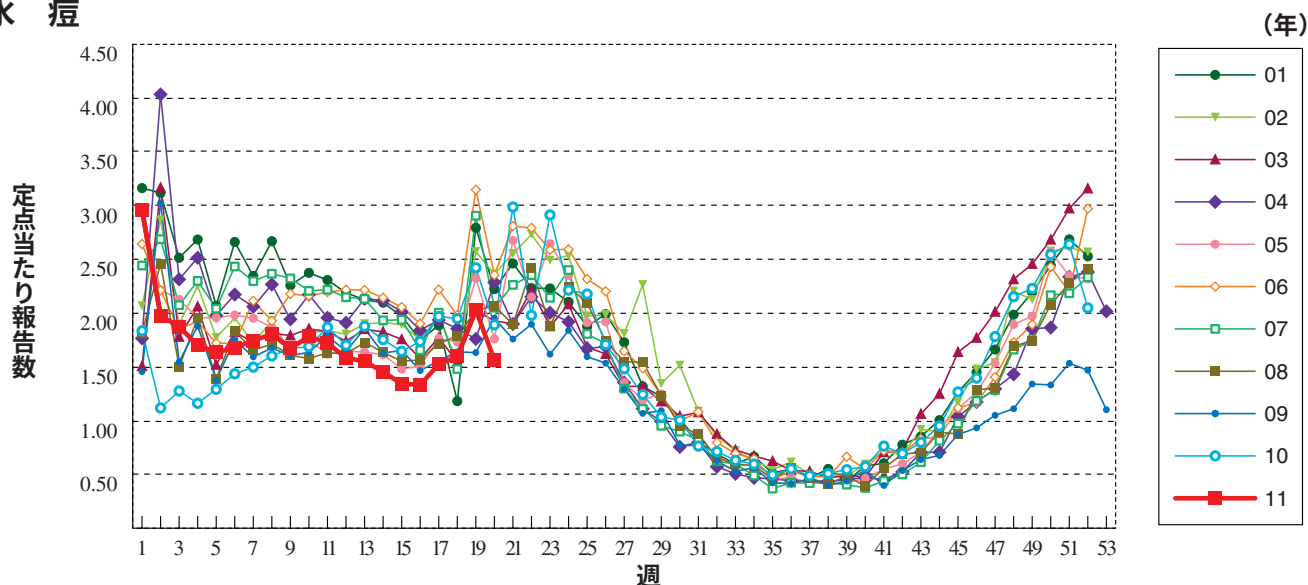
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



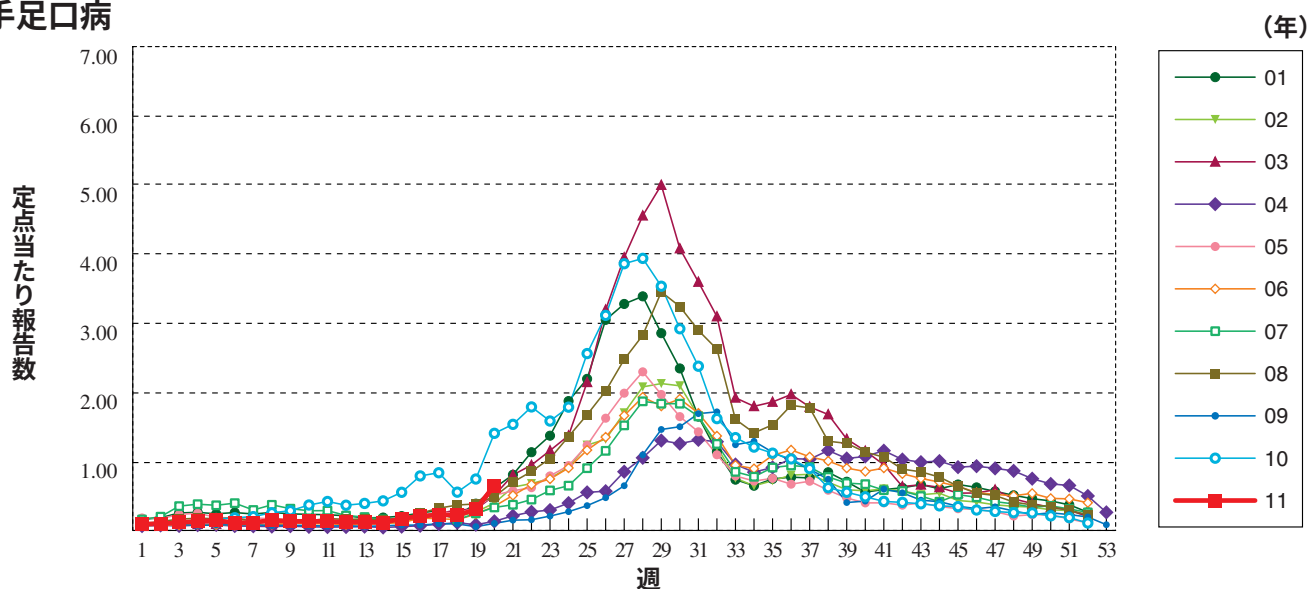
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



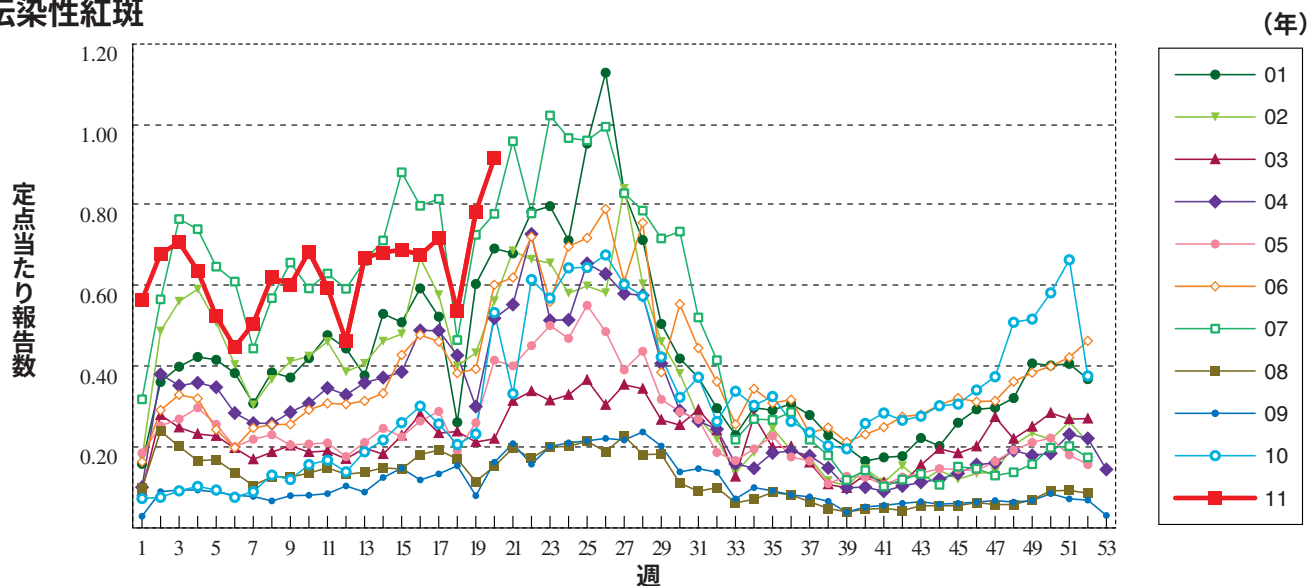
水痘



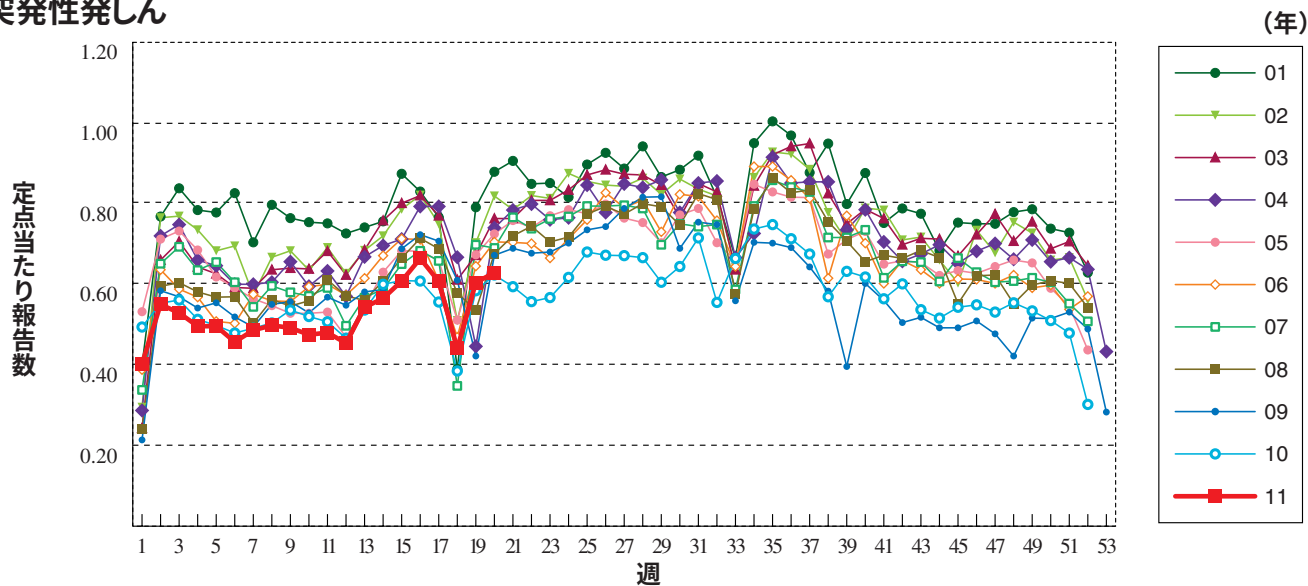
手足口病



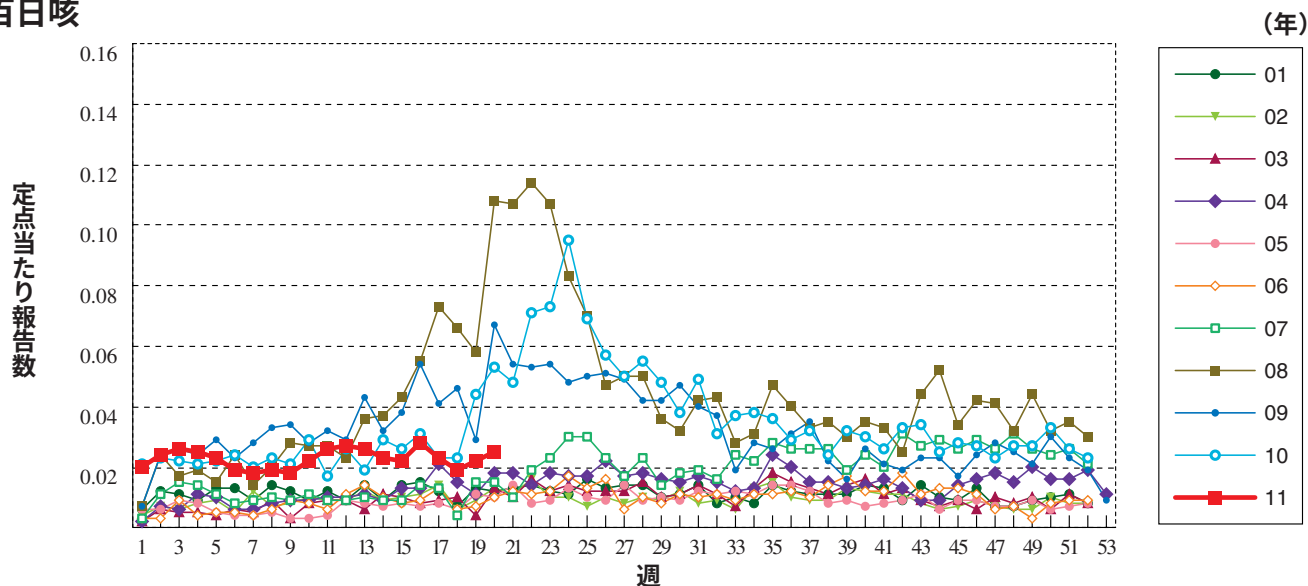
伝染性紅斑



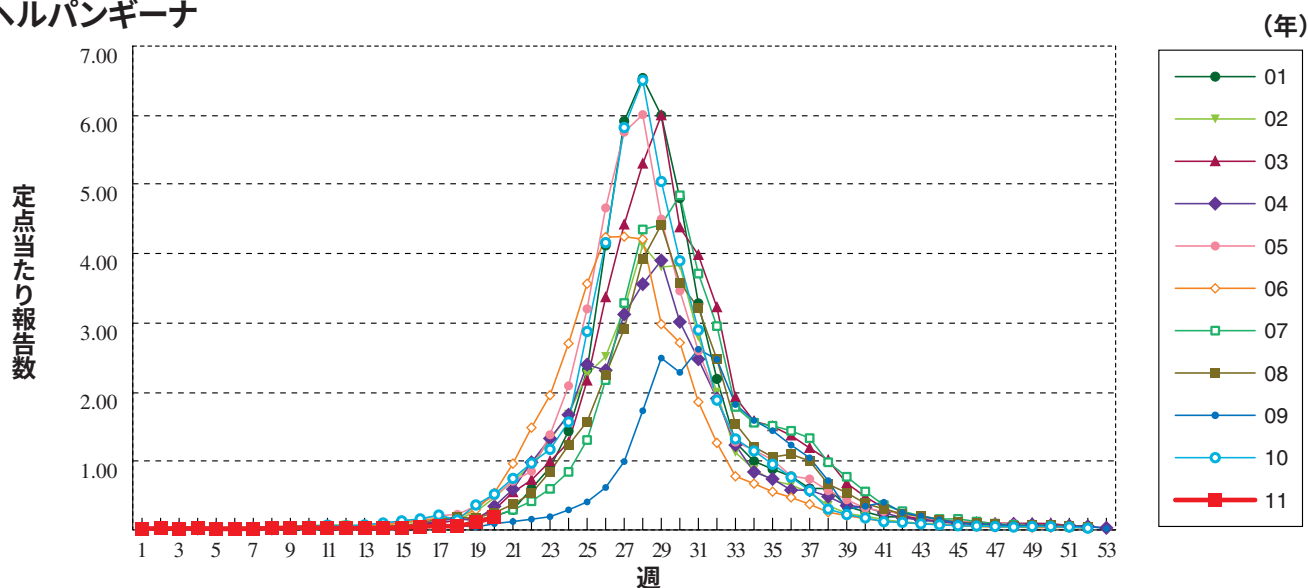
突発性発しん



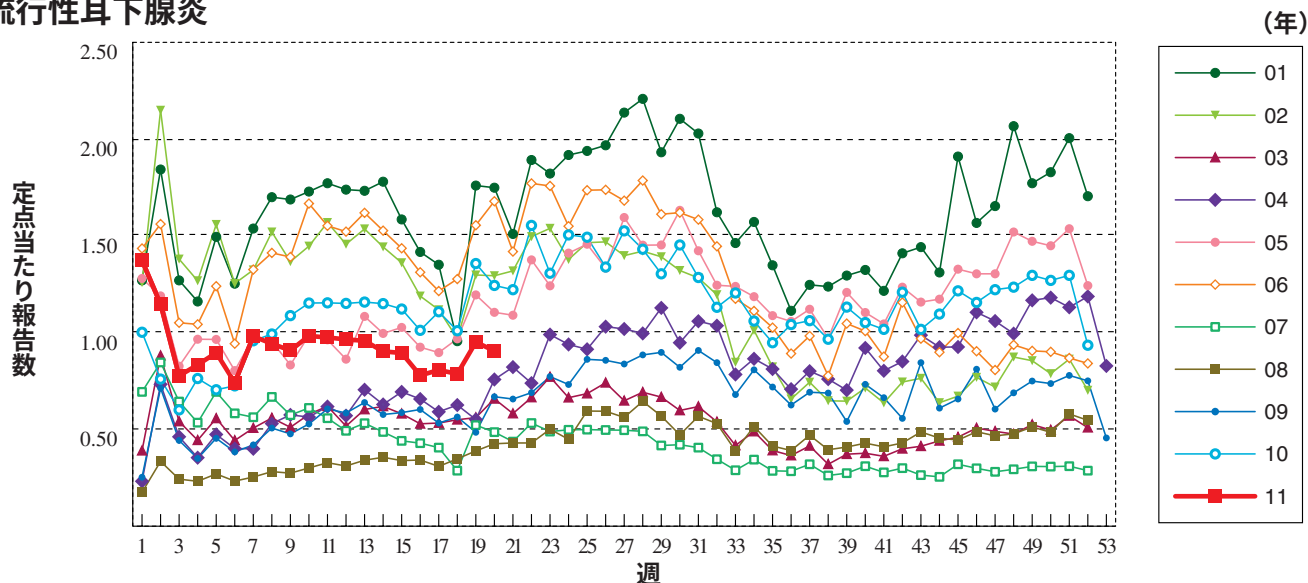
百日咳



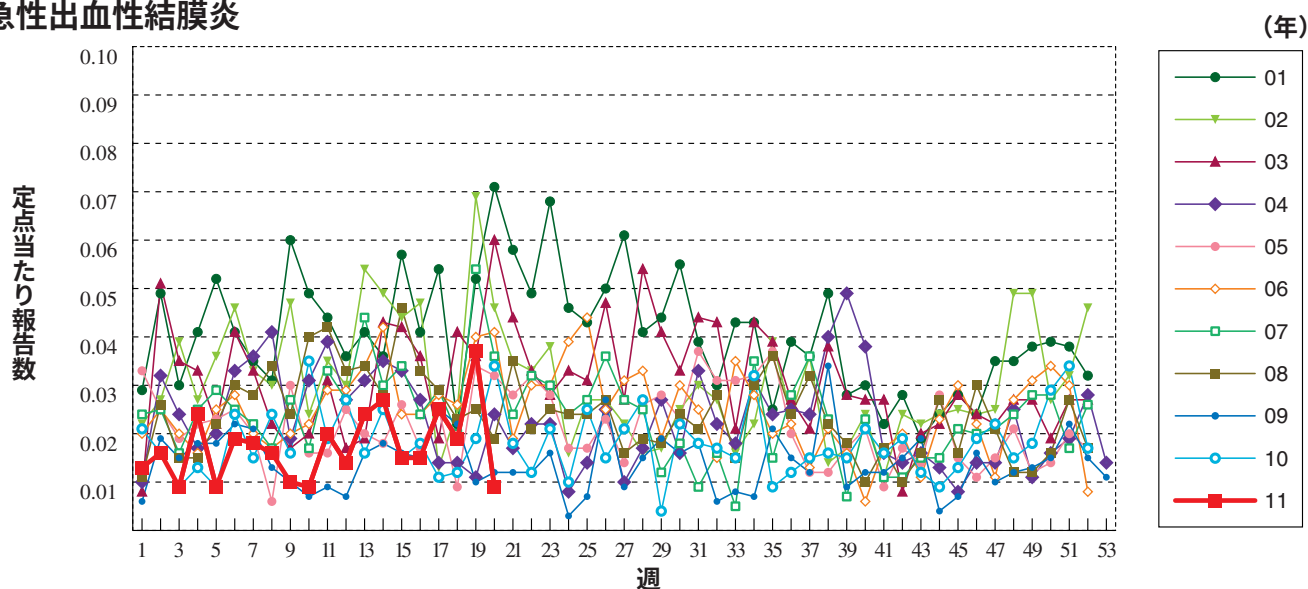
ヘルパンギーナ



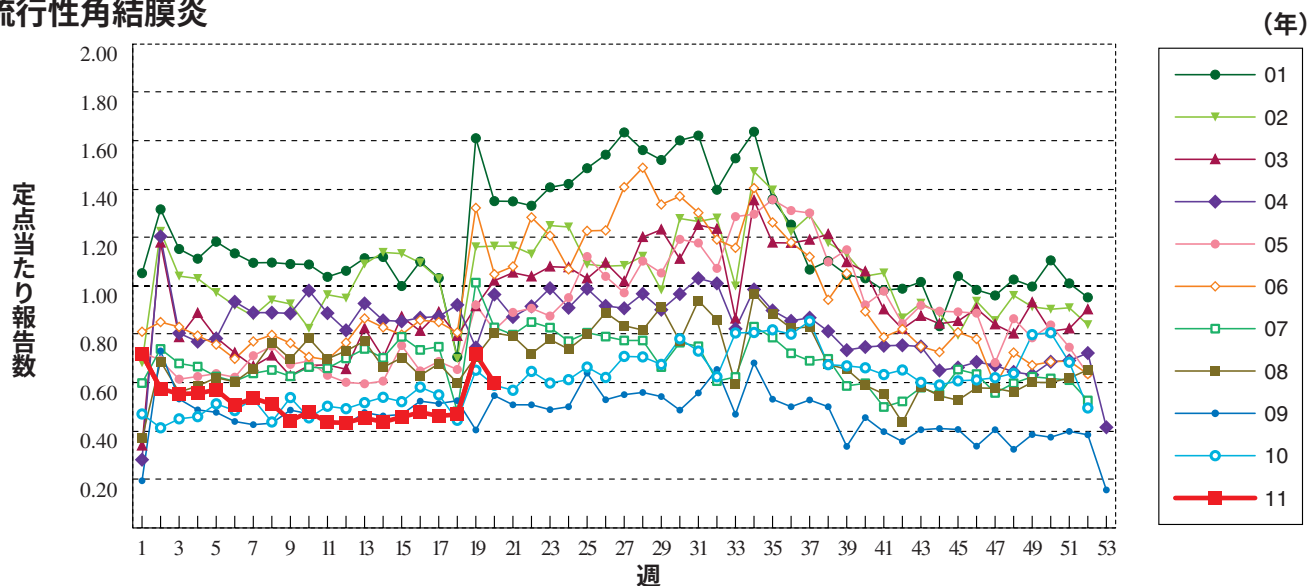
流行性耳下腺炎



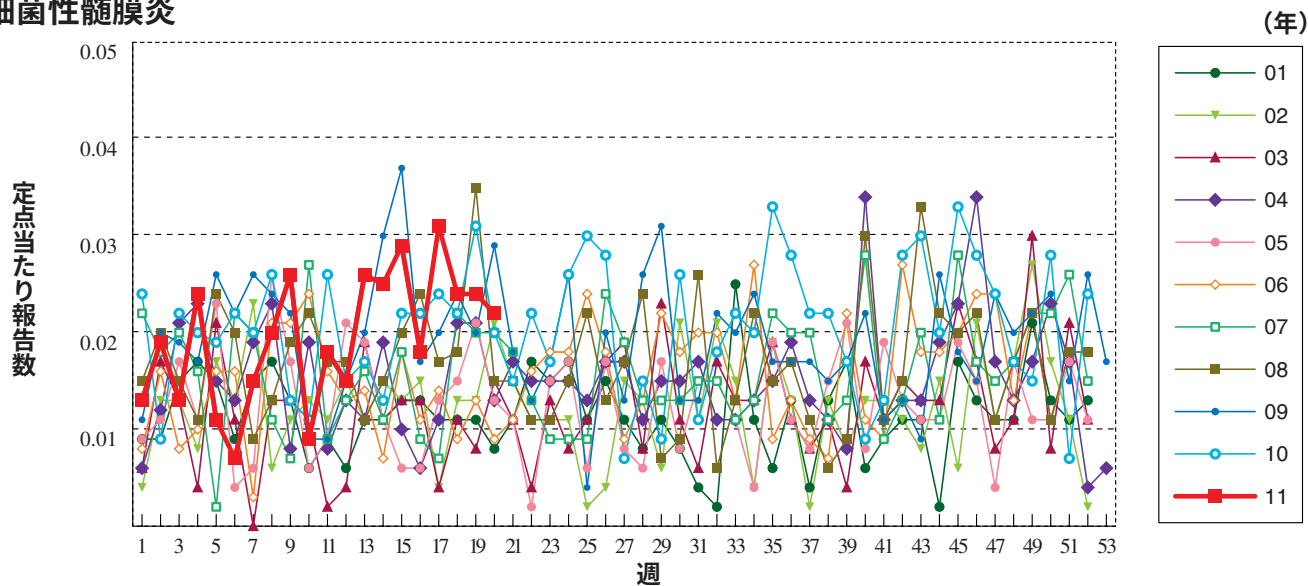
急性出血性結膜炎



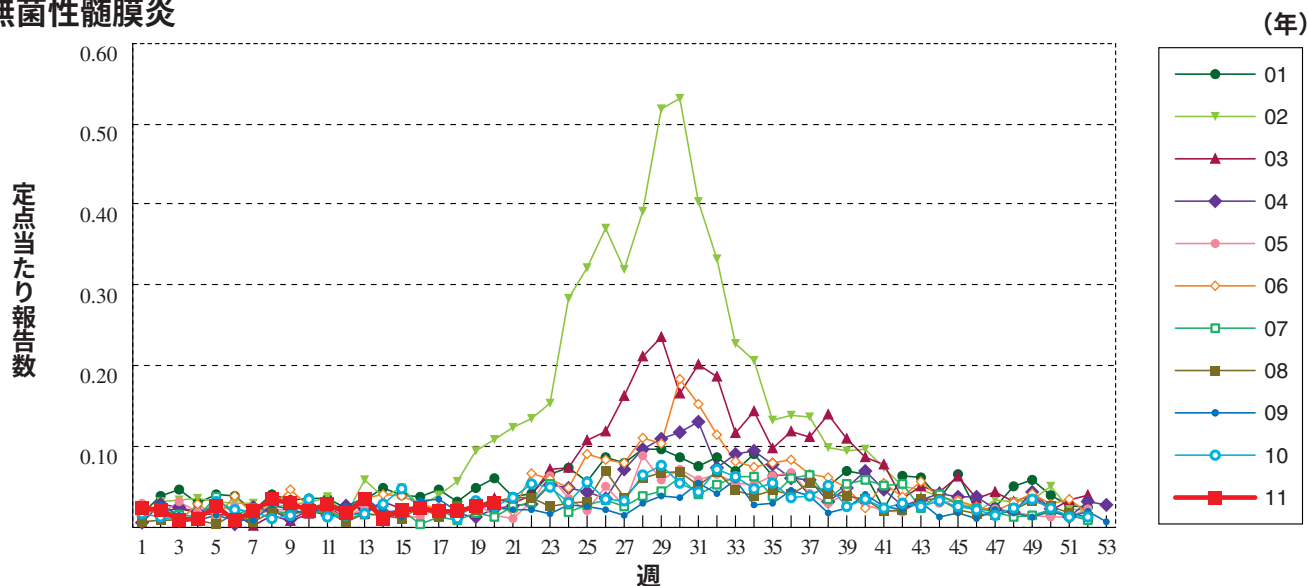
流行性角結膜炎



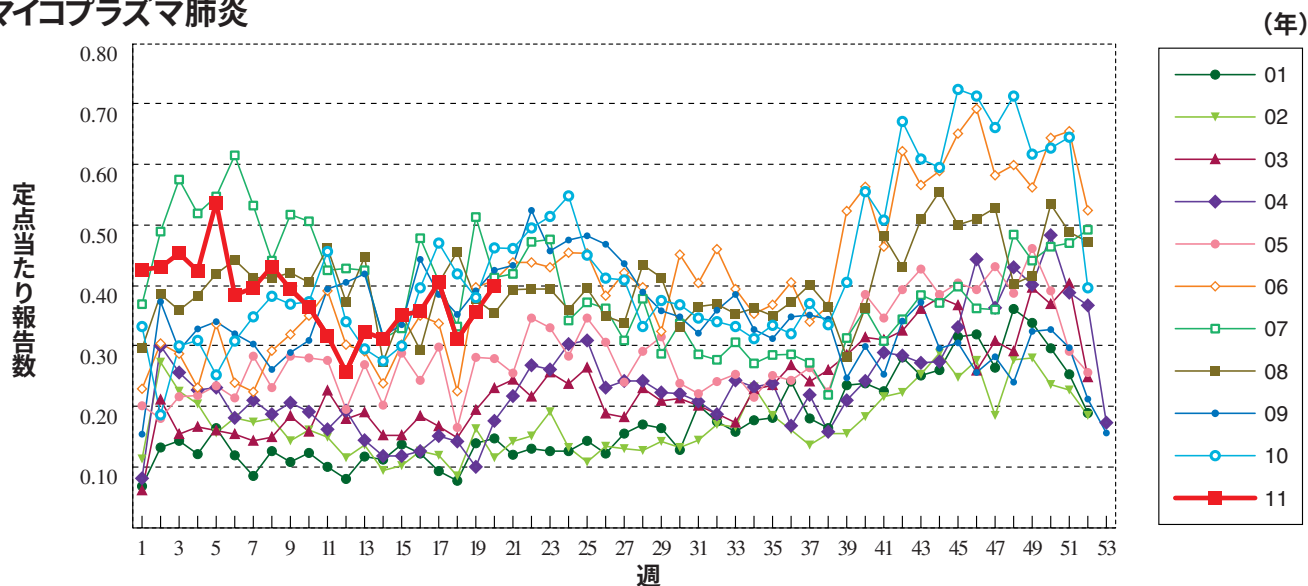
細菌性髄膜炎



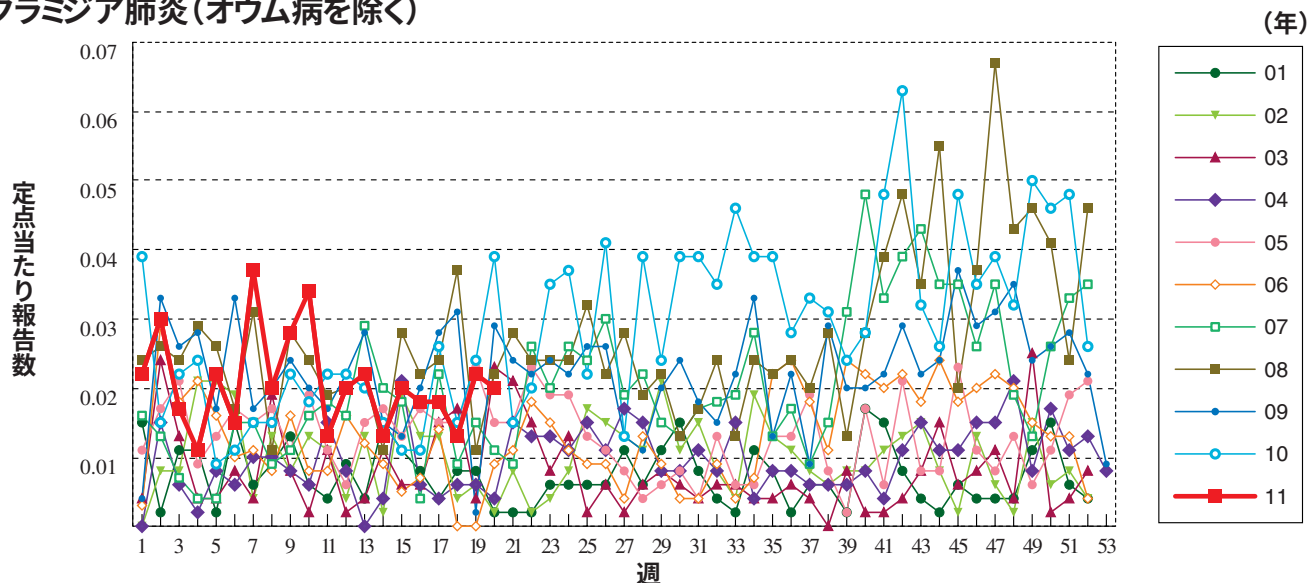
無菌性髄膜炎



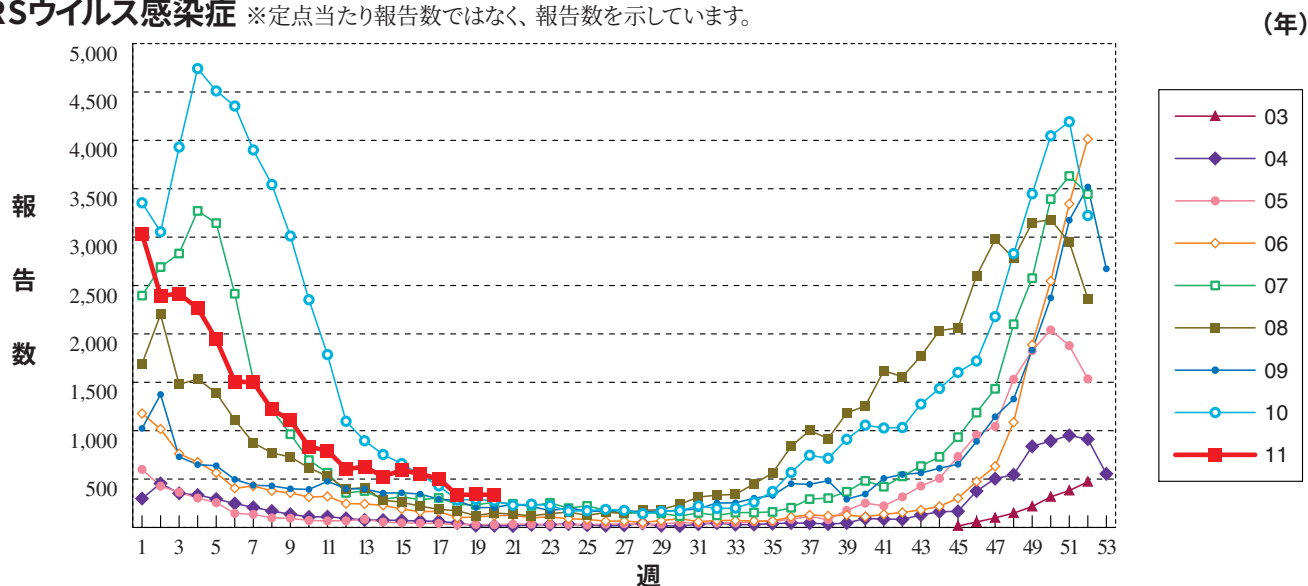
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





20週のデータ

注) 表中の報告数は5月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年20週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	306	10416	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	395	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	130	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	58	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	111	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	100	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	94	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	215	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	123	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	85	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	524	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	536	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	1670	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	697	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	136	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	62	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	111	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	56	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	128	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	186	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	244	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	732	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	133	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	112	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	214	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	419	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	403	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	104	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	198	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	79	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	136	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	371	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	114	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	73	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	109	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	53	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	425	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	149	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	120	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	127	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	109	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	105	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	137	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	119	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	1	3	78	64	462	2	5	1	12	1	27
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	13	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	11	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	9	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	17	-	-	-	1	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	2	31	1	2	-	8	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	3	22	-	-	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	105	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	15	1	1	1	1	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	4	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	9	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	15	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	41	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2	26	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	2	120	-	9	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	15	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	62
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	36	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	21	-	-	-	2	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年20週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	12	199	1	5	-	-	10	287	5	88	2	138	-	3
北海道	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	6	-	1	-	5	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	5	-	1	-	7	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	4	1	1	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	11	1	2	-	6	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	22	-	5	-	13	-	-
東京都	-	-	-	-	1	18	-	3	-	-	3	64	-	14	-	7	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	24	-	4	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	5	-	1	-	8	-	-
富山県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7	-	-	1	10	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	1	11	-	3	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	1	6	1	5	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	2	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	18	1	1	-	-	-	26	-	6	-	13	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	2	14	1	6	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	1	8	-	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	5	-	2	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	12	-	4	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	45	4	90	9	490	1	26	1	4	-	-	4	245	2	33	-	-
北海道	-	2	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
茨城県	-	1	-	1	1	12	-	1	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	3	-	4	-	15	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-
千葉県	-	4	1	2	-	18	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
東京都	-	9	2	16	-	140	-	5	-	1	-	-	2	67	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	6	1	27	-	3	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
石川県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	9	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	1	23	-	2	-	-	-	-	-	17	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
京都府	-	2	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	7	2	78	-	2	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	3	1	14	-	2	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	1	4	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
広島県	1	2	-	3	-	14	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
山口県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
福岡県	-	3	1	10	-	17	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	6	-	-	1	2	-	-	-	3	1	3	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	20	13	126	37	264
北海道	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	6	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	4	5	17
千葉県	-	2	-	6	6	17
東京都	-	-	-	10	19	122
神奈川県	-	3	2	29	3	24
新潟県	-	-	1	3	1	1
富山県	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	1	1	2
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	1	-	2
静岡県	-	-	1	2	-	2
愛知県	-	-	-	3	2	13
三重県	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-
大阪府	1	3	5	27	-	4
兵庫県	-	-	-	3	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3
広島県	-	1	2	7	-	20
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	2	6	-	2
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	1
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7931	1.62	1503	0.48	7412	2.36	19528	6.22	4911	1.56	2033	0.65	2880	0.92	1973	0.63	79	0.03
北海道	671	2.97	62	0.44	480	3.38	863	6.08	222	1.56	16	0.11	240	1.69	53	0.37	2	0.01
青森県	240	3.81	10	0.24	28	0.68	148	3.61	55	1.34	6	0.15	17	0.41	27	0.66	-	-
岩手県	90	1.43	3	0.08	66	1.69	162	4.15	50	1.28	58	1.49	8	0.21	14	0.36	1	0.03
宮城県	59	0.63	10	0.17	148	2.51	402	6.81	76	1.29	16	0.27	21	0.36	53	0.90	-	-
秋田県	190	3.45	13	0.37	43	1.23	209	5.97	45	1.29	9	0.26	13	0.37	11	0.31	-	-
山形県	100	2.08	11	0.37	118	3.93	329	10.97	45	1.50	2	0.07	61	2.03	23	0.77	-	-
福島県	162	2.03	3	0.06	99	2.06	313	6.52	64	1.33	-	-	34	0.71	20	0.42	-	-
茨城県	129	1.08	48	0.64	192	2.56	304	4.05	94	1.25	9	0.12	100	1.33	26	0.35	-	-
栃木県	76	1.00	4	0.08	102	2.13	136	2.83	82	1.71	3	0.06	90	1.88	14	0.29	3	0.06
群馬県	158	1.61	18	0.30	135	2.25	380	6.33	80	1.33	8	0.13	87	1.45	44	0.73	-	-
埼玉県	182	0.74	82	0.52	588	3.70	1133	7.13	257	1.62	25	0.16	259	1.63	108	0.68	2	0.01
千葉県	138	0.67	49	0.37	484	3.69	837	6.39	205	1.56	11	0.08	118	0.90	83	0.63	8	0.06
東京都	202	0.49	108	0.41	741	2.83	1814	6.92	421	1.61	32	0.12	230	0.88	177	0.68	11	0.04
神奈川県	107	0.33	76	0.37	424	2.08	1129	5.53	301	1.48	27	0.13	140	0.69	138	0.68	9	0.04
新潟県	310	3.26	40	0.67	243	4.05	711	11.85	120	2.00	1	0.02	55	0.92	46	0.77	2	0.03
富山県	9	0.19	33	1.14	109	3.76	375	12.93	42	1.45	1	0.03	12	0.41	12	0.41	-	-
石川県	74	1.54	19	0.66	101	3.48	215	7.41	42	1.45	2	0.07	53	1.83	19	0.66	-	-
福井県	147	4.59	23	1.05	102	4.64	222	10.09	48	2.18	35	1.59	21	0.95	10	0.45	-	-
山梨県	14	0.35	3	0.13	39	1.63	182	7.58	13	0.54	1	0.04	24	1.00	14	0.58	-	-
長野県	284	3.23	8	0.15	142	2.58	453	8.24	74	1.35	1	0.02	54	0.98	26	0.47	1	0.02
岐阜県	41	0.47	44	0.83	71	1.34	252	4.75	54	1.02	16	0.30	21	0.40	23	0.43	1	0.02
静岡県	142	1.10	28	0.33	177	2.08	498	5.86	138	1.62	16	0.19	158	1.86	52	0.61	-	-
愛知県	82	0.42	74	0.41	359	1.99	1112	6.18	224	1.24	69	0.38	172	0.96	111	0.62	3	0.02
三重県	64	0.89	28	0.62	102	2.27	224	4.98	76	1.69	7	0.16	32	0.71	33	0.73	-	-
滋賀県	42	0.79	53	1.66	84	2.63	238	7.44	65	2.03	26	0.81	34	1.06	22	0.69	-	-
京都府	159	1.31	20	0.27	69	0.95	442	6.05	74	1.01	17	0.23	34	0.47	42	0.58	3	0.04
大阪府	220	0.74	65	0.34	390	2.01	1118	5.76	241	1.24	164	0.85	122	0.63	113	0.58	4	0.02
兵庫県	301	1.51	90	0.70	227	1.76	755	5.85	192	1.49	52	0.40	96	0.74	60	0.47	1	0.01
奈良県	62	1.13	29	0.83	42	1.20	166	4.74	57	1.63	9	0.26	42	1.20	14	0.40	-	-
和歌山県	67	1.34	6	0.19	27	0.87	122	3.94	52	1.68	49	1.58	38	1.23	14	0.45	-	-
鳥取県	47	1.62	14	0.74	66	3.47	128	6.74	33	1.74	18	0.95	6	0.32	4	0.21	-	-
島根県	21	0.55	29	1.26	32	1.39	165	7.17	32	1.39	23	1.00	23	1.00	20	0.87	1	0.04
岡山県	90	1.07	9	0.17	38	0.70	283	5.24	58	1.07	172	3.19	11	0.20	31	0.57	1	0.02
広島県	80	0.70	70	0.99	137	1.93	318	4.48	86	1.21	132	1.86	60	0.85	42	0.59	7	0.10
山口県	45	0.65	32	0.67	141	2.94	293	6.10	56	1.17	32	0.67	43	0.90	43	0.90	-	-
徳島県	121	3.18	9	0.39	32	1.39	134	5.83	27	1.17	9	0.39	12	0.52	12	0.52	-	-
香川県	54	1.10	18	0.60	17	0.57	178	5.93	25	0.83	86	2.87	2	0.07	24	0.80	1	0.03
愛媛県	96	1.57	15	0.41	71	1.92	360	9.73	94	2.54	20	0.54	21	0.57	26	0.70	-	-
高知県	84	1.75	4	0.13	65	2.17	109	3.63	40	1.33	30	1.00	12	0.40	20	0.67	-	-
福岡県	305	1.54	65	0.54	352	2.93	810	6.75	269	2.24	347	2.89	102	0.85	107	0.89	12	0.10
佐賀県	270	6.92	25	1.09	21	0.91	74	3.22	64	2.78	53	2.30	39	1.70	29	1.26	-	-
長崎県	376	5.37	10	0.23	81	1.84	161	3.66	75	1.70	66	1.50	25	0.57	29	0.66	1	0.02
熊本県	160	2.00	19	0.40	67	1.40	266	5.54	102	2.13	45	0.94	13	0.27	43	0.90	-	-
大分県	55	0.95	19	0.53	72	2.00	354	9.83	89	2.47	70	1.94	22	0.61	36	1.00	-	-
宮崎県	292	4.95	41	1.14	122	3.39	264	7.33	101	2.81	127	3.53	80	2.22	51	1.42	-	-
鹿児島県	374	4.07	46	0.85	131	2.43	290	5.37	168	3.11	73	1.35	21	0.39	41	0.76	-	-
沖縄県	939	16.19	18	0.53	35	1.03	97	2.85	83	2.44	42	1.24	2	0.06	13	0.38	5	0.15

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年20週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	582	0.19	2845	0.91	6	0.01	405	0.60	10	0.02	14	0.03	184	0.40	9	0.02	335
北海道	7	0.05	99	0.70	-	-	13	0.45	-	-	-	-	10	0.43	1	0.04	37
青森県	2	0.05	46	1.12	-	-	3	0.27	-	-	-	-	5	0.83	-	-	3
岩手県	17	0.44	68	1.74	-	-	2	0.15	-	-	1	0.05	11	0.58	-	-	7
宮城県	5	0.08	58	0.98	-	-	5	0.42	-	-	-	-	16	1.33	-	-	6
秋田県	-	-	10	0.29	-	-	2	0.29	-	-	-	-	6	0.75	-	-	1
山形県	-	-	27	0.90	-	-	2	0.25	-	-	2	0.22	1	0.11	-	-	9
福島県	-	-	26	0.54	-	-	11	0.92	-	-	-	-	3	0.43	1	0.14	16
茨城県	4	0.05	47	0.63	-	-	19	1.12	-	-	-	-	4	0.31	-	-	-
栃木県	4	0.08	41	0.85	-	-	18	1.64	-	-	-	-	2	0.29	-	-	4
群馬県	5	0.08	54	0.90	-	-	15	1.00	2	0.25	-	-	2	0.25	-	-	1
埼玉県	5	0.03	60	0.38	2	0.05	16	0.40	-	-	-	-	5	0.56	-	-	4
千葉県	9	0.07	84	0.64	1	0.03	26	0.79	-	-	2	0.22	-	-	-	-	13
東京都	17	0.06	96	0.37	-	-	11	0.30	1	0.04	1	0.04	4	0.17	-	-	13
神奈川県	14	0.07	105	0.51	1	0.02	38	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	3	0.05	114	1.90	-	-	8	0.89	-	-	-	-	5	0.42	5	0.42	19
富山県	-	-	21	0.72	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.80	-	-	6
石川県	-	-	29	1.00	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20	-	-	17
福井県	-	-	3	0.14	-	-	2	0.67	1	0.17	-	-	3	0.50	-	-	-
山梨県	-	-	15	0.63	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	1	0.10	1
長野県	2	0.04	244	4.44	-	-	5	0.45	-	-	-	-	2	0.18	-	-	-
岐阜県	2	0.04	39	0.74	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.40	-	-	3
静岡県	14	0.16	60	0.71	-	-	15	0.75	-	-	-	-	5	0.56	-	-	2
愛知県	29	0.16	80	0.44	-	-	5	0.15	-	-	-	-	9	0.60	-	-	17
三重県	2	0.04	28	0.62	-	-	3	0.25	-	-	-	-	5	0.56	-	-	1
滋賀県	14	0.44	42	1.31	-	-	8	1.00	-	-	-	-	1	0.14	-	-	1
京都府	7	0.10	35	0.48	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	79	0.41	151	0.78	-	-	15	0.29	1	0.07	-	-	26	1.73	-	-	39
兵庫県	15	0.12	176	1.36	-	-	15	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	18
奈良県	1	0.03	10	0.29	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	10	0.32	18	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36	-	-	1
鳥取県	9	0.47	70	3.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	8	0.35	31	1.35	-	-	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-	-
岡山県	38	0.70	66	1.22	-	-	5	0.42	1	0.20	-	-	3	0.60	-	-	6
広島県	29	0.41	68	0.96	-	-	18	0.95	-	-	1	0.05	5	0.24	-	-	15
山口県	13	0.27	39	0.81	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.22	-	-	8
徳島県	3	0.13	27	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3
香川県	20	0.67	49	1.63	-	-	3	1.00	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-
愛媛県	5	0.14	60	1.62	1	0.13	15	1.88	-	-	1	0.17	4	0.67	-	-	6
高知県	16	0.53	15	0.50	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.29	-	-	3
福岡県	26	0.22	144	1.20	-	-	28	1.08	2	0.13	1	0.07	2	0.13	-	-	16
佐賀県	5	0.22	26	1.13	-	-	3	0.75	-	-	-	-	2	0.33	-	-	5
長崎県	16	0.36	44	1.00	1	0.13	5	0.63	-	-	1	0.09	6	0.55	1	0.09	-
熊本県	19	0.40	74	1.54	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	5	0.14	27	0.75	-	-	1	0.20	-	-	-	-	2	0.18	-	-	2
宮崎県	38	1.06	76	2.11	-	-	15	2.50	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-
鹿児島県	61	1.13	125	2.31	-	-	3	0.43	-	-	-	-	3	0.25	-	-	8
沖縄県	4	0.12	18	0.53	-	-	16	1.60	2	0.29	2	0.29	12	1.71	-	-	21

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年20週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68	-	7	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年20週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第20号 2011年6月3日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。